

# 2025年12月期 第3四半期 決算説明資料

株式会社アシックス 2025年11月12日



各種サービス 新規ご登録はこちらから



OneASICS会員



個人投資家向け  
メール配信



ASICSアプリ  
(iPhone)



ASICSアプリ  
(Android)

# INDEX

1. 次期中計経営計画（2027年～2029年）に関して
2. 決算サマリー等
3. 連結業績の概要
4. カテゴリー別連結経営成績
5. 地域別連結経営成績
6. 連結財政状態
7. 連結業績予想
8. IRカレンダー

## Appendix

# INDEX

1. 次期中計経営計画（2027年～2029年）に関して
2. 決算サマリー等
3. 連結業績の概要
4. カテゴリー別連結経営成績
5. 地域別連結経営成績
6. 連結財政状態
7. 連結業績予想
8. IRカレンダー

Appendix

# 次期中期経営計画（2027年～2029年）に関して

- 中期経営計画2026の財務目標は1年前倒しで達成の見込み。Global Integrated Enterpriseへの変革に向けた重点戦略を引き続き推進。
- 2029年12月期を最終年度とする次期中期経営計画については、2026年第4四半期を目途に発表予定。

## 中期経営計画2026

方針：Global Integrated Enterpriseへの変革

### 重点戦略

グローバル成長

ブランド  
体験価値向上

オペレーショナル  
エクセレンス

### 財務目標

営業利益	1,300億円以上
営業利益率	17%以上
ROA	15%前後

## 次期中期経営計画

- ✓ 早期に売上高1兆円達成を目指す
- ✓ 更なる成長に向けた投資拡大等を見越しながら利益成長を追求

2026年第4四半期を目途に発表予定



# INDEX

1. 次期中計経営計画（2027年～2029年）に関して
2. 決算サマリー等
3. 連結業績の概要
4. カテゴリー別連結経営成績
5. 地域別連結経営成績
6. 連結財政状態
7. 連結業績予想
8. IRカレンダー

Appendix

# 連結損益計算書

(単位：億円)

第3四半期 (1-9月)	FY24Q3 実績	FY25Q3 実績	前年同期比 上段：増減額 下段：増減率
売上高	5,254	6,250	+996 +19.0%
売上総利益	2,909	3,531	+622 +21.4%
売上総利益率	55.4%	56.5%	+1.1ppt
販管費	1,994	2,255	+261 +13.1%
販管費率	38.0%	36.1%	△1.9ppt
人件費	619	683	+64 +10.4%
広告宣伝費	364	425	+61 +16.8%
広告宣伝費率	6.9%	6.8%	△0.1ppt
賃借料	106	113	+7 +6.1%
減価償却費	146	174	+28 +19.7%
その他経費	759	860	+101 +13.3%
営業利益	915	1,276	+361 +39.4%
営業利益率	17.4%	20.4%	+3.0ppt
経常利益	882	1,245	+363 +41.0%
特別損益	38	20	△18
親会社株主に帰属する 四半期純利益	649	863	+214 +32.9%

	FY24Q3 実績	FY25Q3 実績	増減額	増減率
海外売上高	4,263	5,063	+800	+18.8%
海外比率	81.1%	81.0%	-	△0.1ppt

為替影響除く	連結売上高増減	+1,072	+20.4%
	連結営業利益増減	+374	+40.9%
	連結純利益増減	+225	+34.7%

平均為替レート（円）	FY24Q3 実績	FY25Q3 実績
1ドル	150.69	148.76
1ユーロ	163.92	165.49
1人民元	21.00	20.61

## 2025年12月期 第3四半期 連結決算サマリー（1）

① **全体**：全カテゴリー、全地域で売上成長、第3四半期で初の6,000億円超え。粗利益率の改善もあり、営業利益、四半期純利益ともに過去最高。なお、第3四半期（3か月期間）で売上高は20%超の成長、営業利益は四半期会計期間で過去最高。

- 売上高：6,250億円（前年同期比：+19.0%、為替影響除く：+20.4%）
- 粗利益率：56.5%（前年同期比：+1.1ppt）
- 営業利益：1,276億円（前年同期比：+39.4%） / 営業利益率：20.4%（前年同期比：+3.0ppt）
- 四半期純利益：863億円（前年同期比：+32.9%）

② **カテゴリー業績**：全カテゴリーで増収。特に、SPSとOTは45%超の大幅増収。

- パフォーマンスランニング：カテゴリー利益率 25.5% 前年同期比+1.7ppt  
高付加価値商品にフォーカスし増収増益。特に、アシックスジャパン、欧州、東南・南アジアで大幅に成長。  
（売上高：前年同期比+10.1%、為替影響除く：+11.8%）
- スポーツスタイル：カテゴリー利益率 30.6% 前年同期比+2.5ppt  
全地域で増収。特に、北米、欧州、中華圏での伸長が全体の売上を牽引。  
（売上高：前年同期比+45.2%、為替影響除く：+46.8%）
- オニツカタイガー：カテゴリー利益率 39.4% 前年同期比+1.5ppt  
全地域で増収。特に、インバウンド需要の強い日本、欧州、中華圏で大幅に成長。  
（売上高：前年同期比+45.7%、為替影響除く：+46.9%）

## 2025年12月期 第3四半期 連結決算サマリー（2）

### ① 地域業績：アシックスジャパン、北米、欧州で営業利益、営業利益率ともに大きく伸長。 中華圏、東南・南アジアも引き続き好調に推移。

- アシックスジャパン：営業利益率30.0% 前年同期比 +6.4ppt  
オニツカタイガーのインバウンド好調継続により粗利益率の良化、販管費率低減もあり営業利益率が更に伸長。  
(売上高：前年同期比+34.5%)  
インバウンド売上高は328億円となり、前年同期の165億円からほぼ倍増となる増収。
- 北米：営業利益率14.2% 前年同期比+3.5ppt  
関税の影響があるも、ランニング専門店における売上成長、スポーツスタイルの増収、リテールの収益性改善などにより、  
営業利益率14.2%と力強く伸長。(売上高：前年同期比+7.9%、為替影響除く：+10.2%)

### ② 在庫効率：商品の戦略的絞り込み、及び発注管理強化により在庫効率は引き続き改善

- 連結のDIO（平均棚卸資産回転期間）は147日と前年同期比4日短縮。

### ③ その他：連結業績予想の上方修正、自己株式取得

- 各カテゴリーの足元の好調な状況を考慮した結果、8月に開示した2025年12月期の通期業績予想を上方修正。  
売上高8,000億円は据え置くも、営業利益は1,360億円から1,400億円、営業利益率は17.0%から17.5%となる見通し。
- 好調な業績及びキャッシュ・フローの見通しを踏まえ、総額300億円の自己株式取得を決定。

# 2025年12月期 連結業績予想

- 2025年12月期第3四半期は全カテゴリー、主要地域で順調に進捗。
- 2025年12月期は、各カテゴリーの足元の好調な状況を考慮した結果、  
売上高は前年比+17.9%増収の8,000億円、営業利益は同+39.8%増益の1,400億円を見込む。
- 剰余金の配当は、当期の業績やキャッシュ・フローの見通しを総合的に勘案した結果、期末配当16円、通期では28円を見込む。
- 好調な業績及びキャッシュ・フローの見通しを踏まえ、総額300億円の自己株式取得を決定。

(単位：億円)	FY24 実績	FY25 8月開示予想	FY25 予想	FY24比 増減率	(ご参考) 為替影響除く増減率
売上高	6,785	8,000	8,000	+17.9%	+19.9%
営業利益	1,001	1,360	1,400	+39.8%	+43.0%
営業利益率	14.8%	17.0%	17.5%	+2.7ppt	-
経常利益	926	1,310	1,350	+45.8%	-
親会社株主に帰属する					
当期純利益	638	870	900	+41.1%	-

配当金	(※) 中間	期末	通期
2024年12月期	10.0円	10.0円	20.0円
2025年12月期	12.0円	16.0円	28.0円

為替レート	USD	EUR	RMB
2024年12月期	151.36	163.66	21.06
2025年12月期	150.00	160.00	20.00

※ 2024年7月1日を効力発生日として1：4の株式分割を実施(分割前40円)。

## 株主還元について

- 株主の皆様に対する利益還元は、経営上の最重要課題のひとつ。
- 今後も持続的な利益成長や営業キャッシュ・フローの拡大が見込まれること、及び足元の株価水準等を総合的に勘案し、総額300億円の自己株式取得を決定。
- 配当金についても累進配当を継続しており、2025年12月期の年間配当金は過去最高の28円を予想。

### 中計2026期間における株主還元の状況

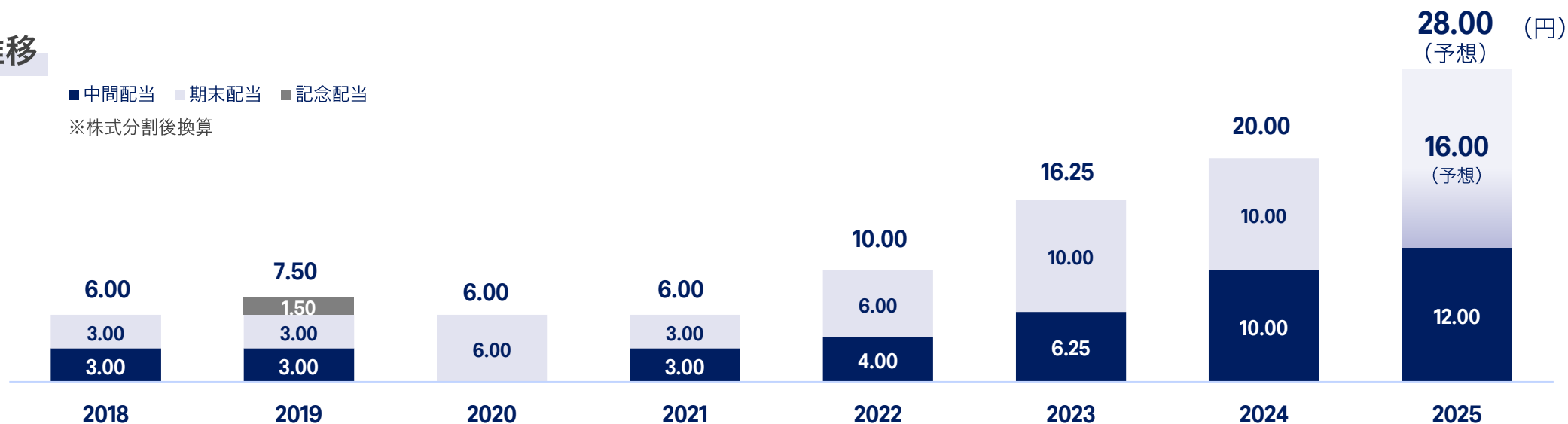
	2024年（実績）	2025年（予想）
配当総額	144億円	199億円
配当性向	22.6%	22.2%
自己株式取得額	263億円*1	200億円 + <u>300億円</u> （今回決定）
総還元性向	63.8%	77.7%

\*1 2024年に実行した自己株式取得（総額350億円）の一部（87億円）は「中期経営計画2023」の株主還元目標達成に充当

### 配当金の推移

■ 中間配当   ■ 期末配当   ■ 記念配当

※株式分割後換算



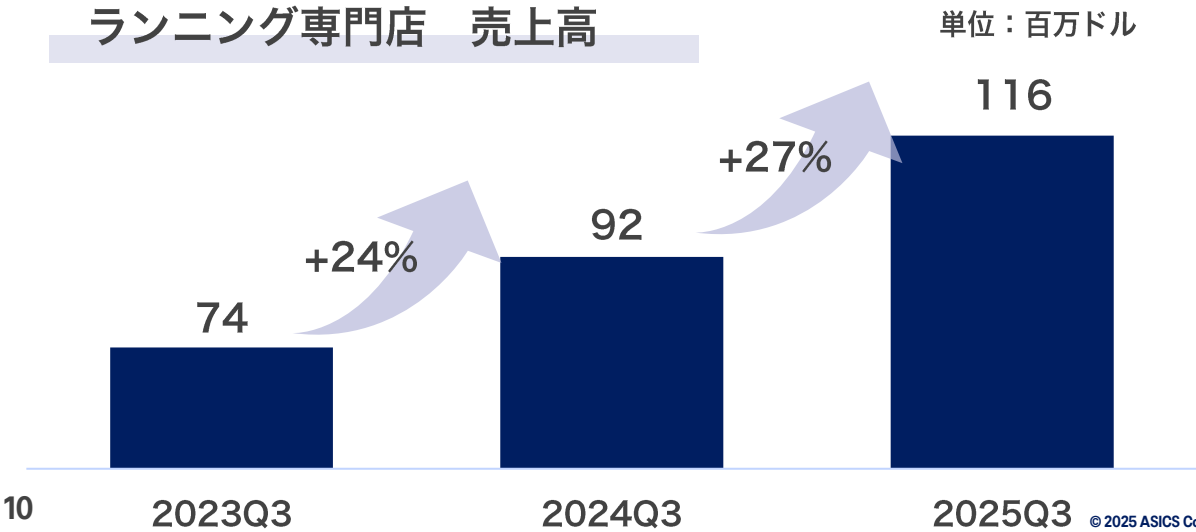
# 北米での事業について

- Low Tier Product（90ドル以下の商品）の取扱縮小、不採算直営店舗の閉鎖、ECでの販売商品の絞り込みを行いつつ、ランニング専門店の売上高も順調に成長中。（11月20日に開催予定のインベストメントデイ（テーマ：パフォーマンスランニング戦略）で詳細を発表予定。）
- なお、2025年の米国関税による影響を約20億円と見込むが、通期予想は営業利益160億円、営業利益率11.0% に上方修正（前回予想 150億円／10.3%）。

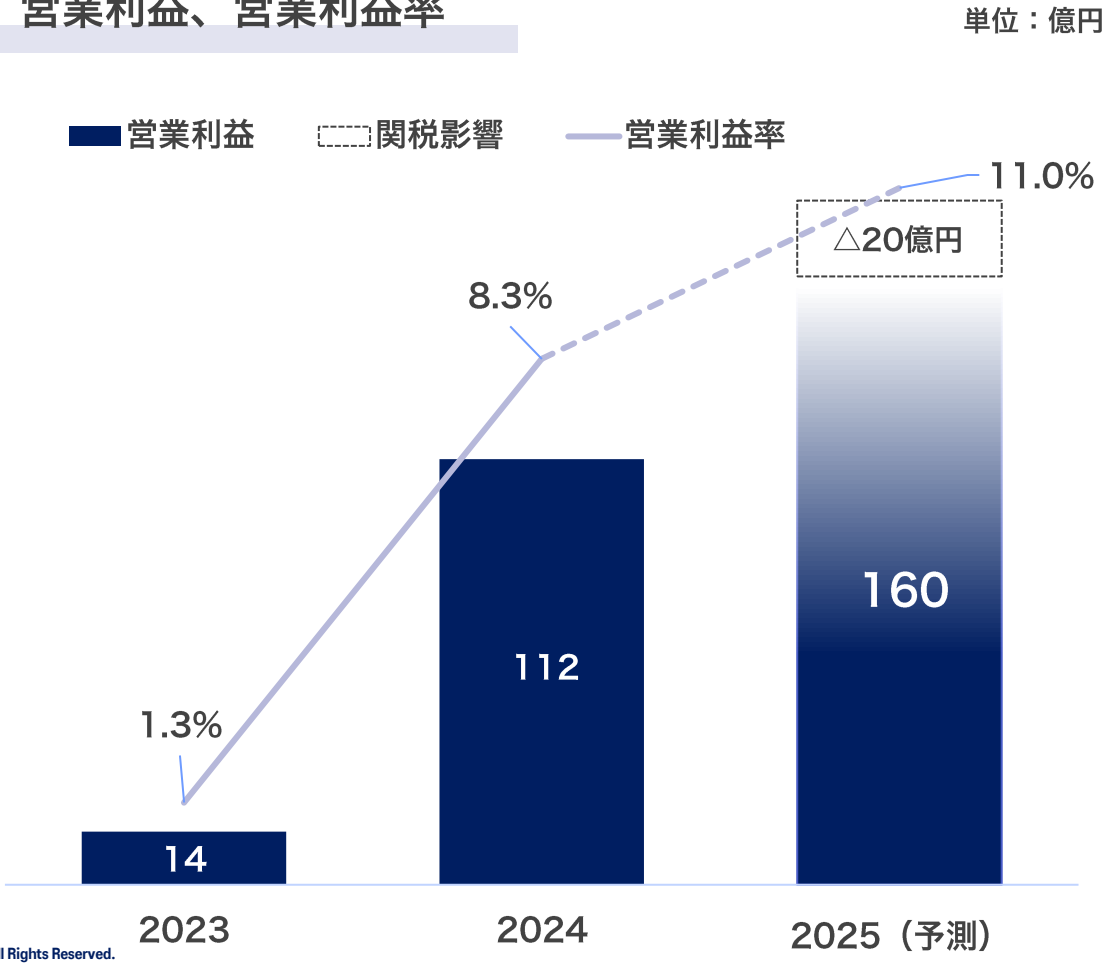
## 戦略的絞り込み

	2022	2023	2024	2025 Q3
Low Tier Product 構成比（販売足数）	42.1%	35.4%	31.5%	30.5%
直営店舗数（米国のみ）	78	59	56	48

## ランニング専門店 売上高



## 営業利益、営業利益率



# 東京2025世界陸上の結果

- 125名のアシックス契約アスリートが出場し、9つのメダルを獲得。
- 男子マラソンではMETASPEEDシリーズ最軽量の「METASPEED RAY」を着用したIliass Aouani選手が3位に。
- 男女マラソンにおいては2位に大きな差をつけてトップシェアを獲得。

## アシックス契約アスリートの活躍



Iliass Aouani選手 (イタリア)  
(イリアス・アウアニ)  
男子マラソン 3位



小林香菜選手 (日本)  
女子マラソン 7位  
(日本人最高)



近藤亮太選手 (日本)  
男子マラソン 11位  
(日本人最高)



Nadia Battocletti選手 (イタリア)  
(ナディア・バットクレッティ)  
女子10000m 2位  
女子5000m 3位



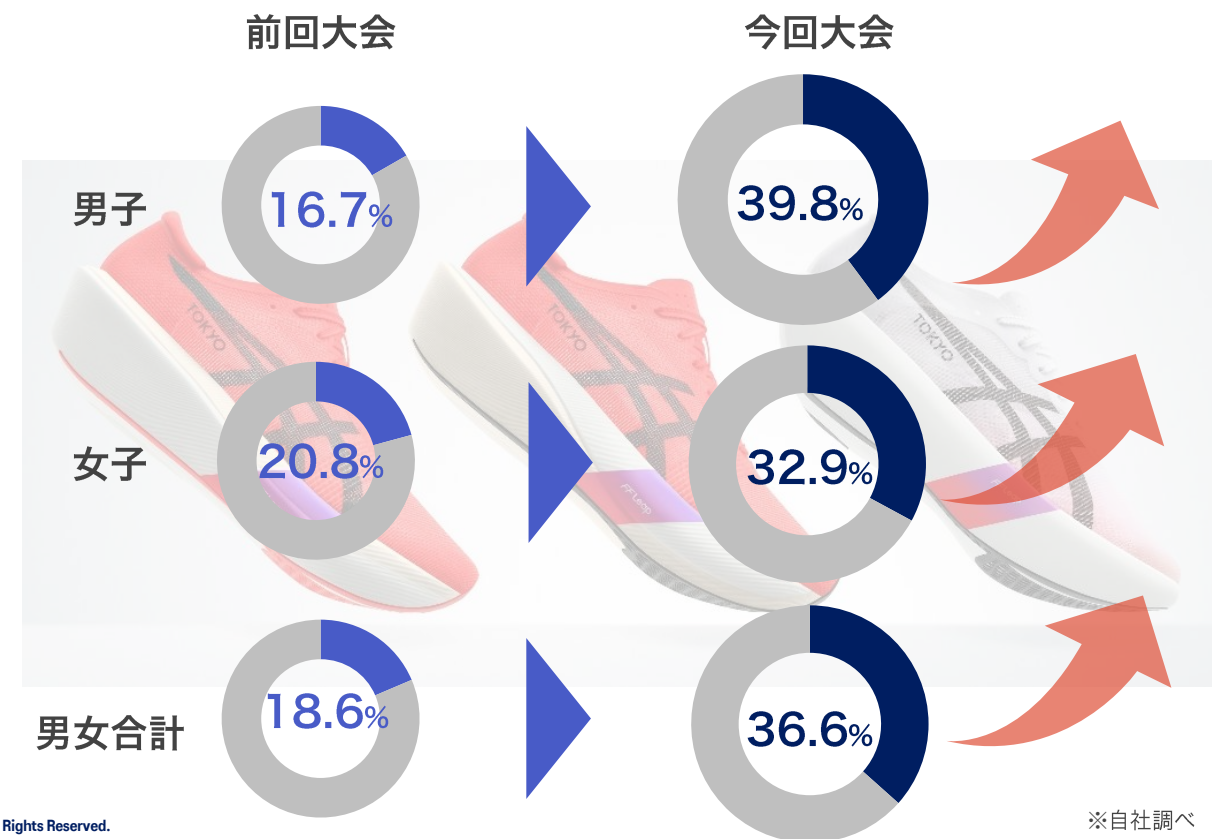
Isaac Nader選手 (ポルトガル)  
(イザク・ナデル)  
男子1500m 優勝



Maria Perez選手 (スペイン)  
(マリア・ペレス)  
女子20km競歩 優勝  
女子35km競歩 優勝

## マラソンにおけるアシックスのシェア

- METASPEED TOKYO Seriesが存在感を示し、シェアを飛躍的に拡大。
- 男子マラソンでは上位20名中12名がアシックスのシューズを着用。





# 世界の主要マラソン大会における契約アスリートの活躍、大会シェア

- ・ シドニーでアシックス契約アスリートが優勝！
- ・ シドニーはシェア1位を維持、ベルリンとシカゴのシェアは昨年よりアップ。

## 主要マラソン大会における契約アスリートの活躍

### シドニー 参加人数：3.5万人（2025年8月）

Men	1 位： <b>Hailemariam Kiros</b> 選手（エチオピア） （ハイレマリアム・キロス）
Women	4 位： <b>Kumeshi Sichala</b> 選手（エチオピア） （クメシ・シチャラ） 5 位： <b>Evaline Chirchir</b> 選手（ケニア） （エバリン・チルチル） 7 位： <b>Leanne Pompeani</b> （オーストラリア） （リアン・ポンペアーニ）



Hailemariam Kiros選手（エチオピア）

### ベルリン 参加人数：5.5万人（2025年9月）

Women	3 位： <b>Azmera Gebru</b> 選手（エチオピア） （アズメラ・ゲブル） 6 位： <b>Fabienne Königstein</b> 選手（ドイツ） （ファビエンヌ・ケーニヒシュタイン） 9 位： 前田穂南選手（日本）
-------	--



Azmera Gebru選手（エチオピア）

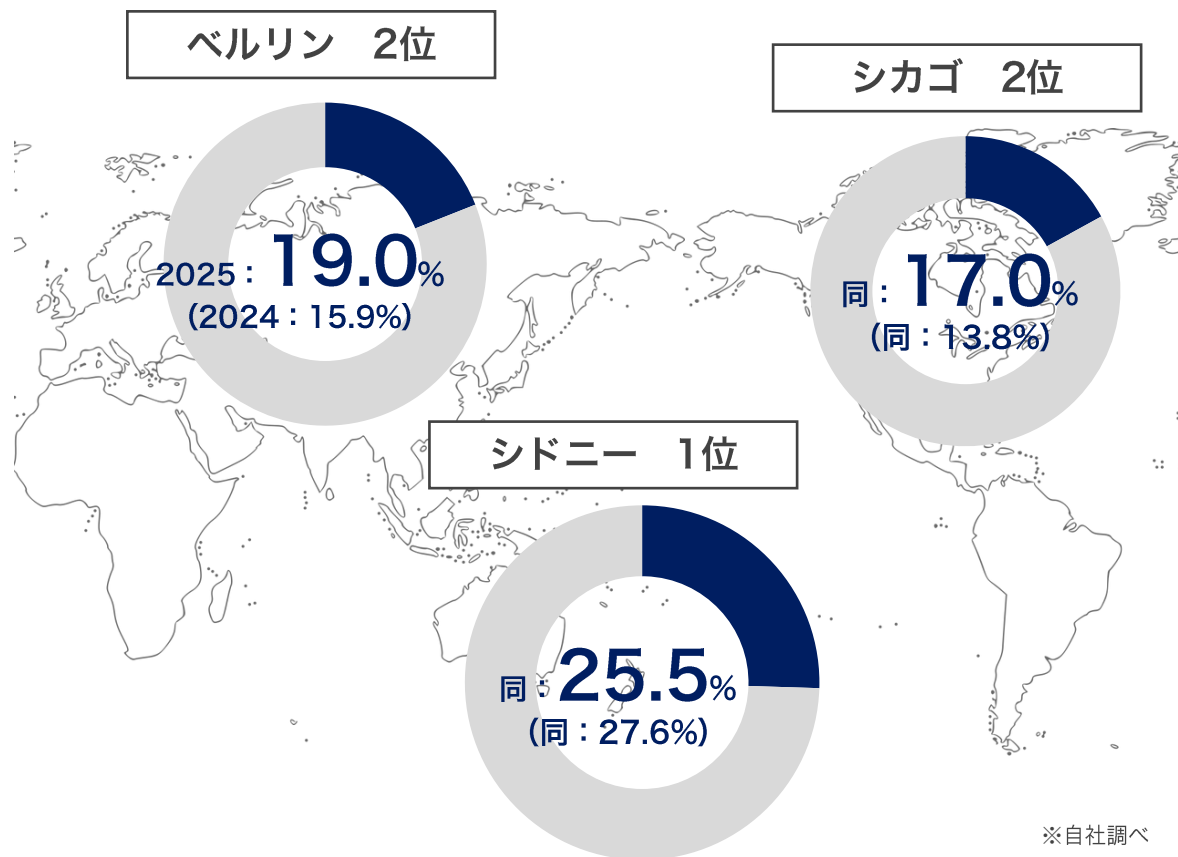
### シカゴ 参加人数：5.3万人（2025年10月）

Women	3 位： <b>Magdalena Shauri</b> 選手（タンザニア） （マグダレナ・シャウリ） 4 位： <b>Loice Chemnung</b> 選手（ケニア） （ロイス・チェムンング）
-------	--



Magdalena Shauri選手（タンザニア）

## 着用シェア



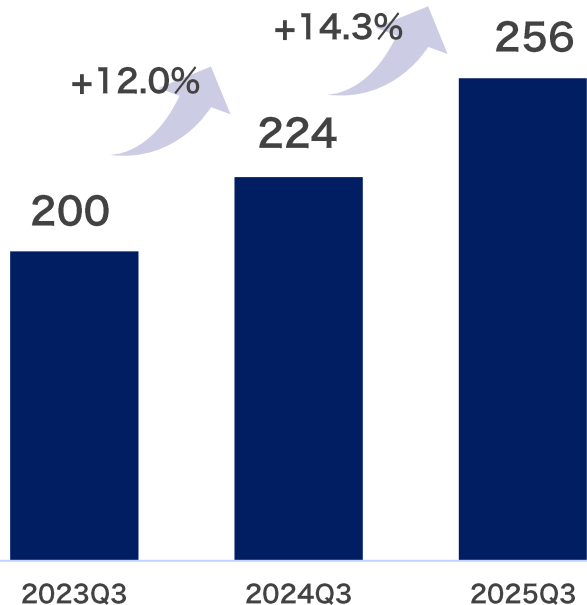
※自社調べ

# テニス (T-プロジェクト、CPS)

- ・ ヨーロッパを中心としたパデル、アメリカを中心としたピッケルボールの流行もあり、売上高は堅調に成長。
- ・ 契約アスリートが各主要大会にて活躍、男子シングルスでのトップシェア維持。
- ・ テニスプレーヤーへ最も影響力を持つブランド実現に向けた施策を連携して実行。

## 売上高 (テニス・パデル・ピッケルボール)

単位：億円



### 【パデル・ピッケルボール】

- ・ 直近の構成比は売上全体の10%程度。
- ・ 2024Q3-2025Q3の成長率は**20%**。

## 主要大会における契約アスリートの活躍

### 国際大会 (英) 6月30日-7月13日



T.Fritz選手 N.Djokovic選手 B.Bencic選手

(テイラー・フリッツ) (ノバク・ジョコビッチ) (ペリンダ・ベンチッチ)

### 国際大会 (米) 8月24日-9月7日



L.Musetti選手 A. De Minaur選手 N.Djokovic選手

(ロレンゾ・ムゼッティ) (アレックス・デミノー) (ノバク・ジョコビッチ)

## ASICS シェア

男子シングルス 女子シングルス

No.1  
(23%)

No.3  
(13%)

男子シングルス 女子シングルス

No.1  
(22%)

No.3  
(12%)

## トップコーチとの協業

2025年6月  
ムラトグルーテニスアカデミー※と  
オフィシャルスポンサー契約を締結

※世界のトップ選手が拠点とする、  
パトリック・ムラトグルー氏運営の著名テニスアカデミー



- ・ プロダクトの魅力を選手やコーチを  
主役にグローバルで発信
- ・ 将来有望な選手へのグラスルーツ活動
- ・ OneASICS会員向け特別企画の実施

# パラ・デフスポーツにおける取り組み

- ・ 2025年9月27日～10月5日、インドで開催されたニューデリー2025世界パラ陸上競技選手権大会では契約チーム・アスリートが活躍し、合計73個のメダルを獲得。
- ・ 2025年11月15日から開催される第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025に向け、社内外での機運醸成を図る。

## ニューデリー2025世界パラ陸上競技選手権大会

- ・ 日本、ブラジル、オランダの代表選手団や6名の契約アスリートをサポート
- ・ アシックスインディア全社員が世界パラ陸上を観戦し、パラスポーツへの理解を促進



日本



オランダ



ブラジル

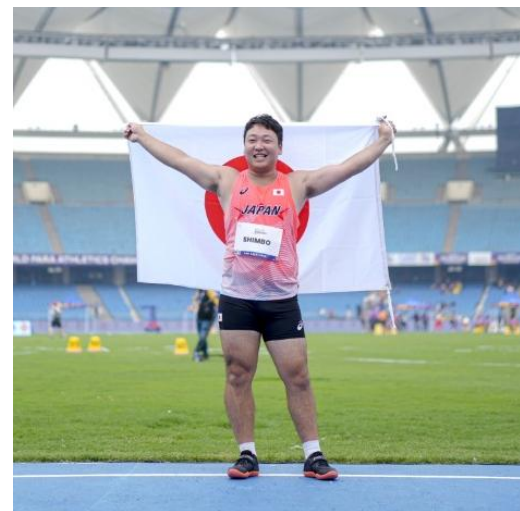
## 第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025に向けた活動

- ・ 運営本部に対してスポーツウエアなどを提供
- ・ 日本選手団および日本デフ陸上協会に対し、シューズやアパレルなどを提供
- ・ ボランティアに参加する社員を中心に、手話講座を実施



## アシックス社員アスリートの活躍

- ・ ニューデリー2025世界パラ陸上競技選手権大会  
新保大和選手が日本新記録で銀メダルを獲得（F37 円盤投げ）
- ・ IBSA ブラインドフットボール女子世界選手権  
若杉遥選手がキャプテンを務める、日本代表チームが銅メダルを獲得



新保大和選手



若杉遥選手

※画像提供：日本ブラインドサッカー協会



# デジタルに関する取組み

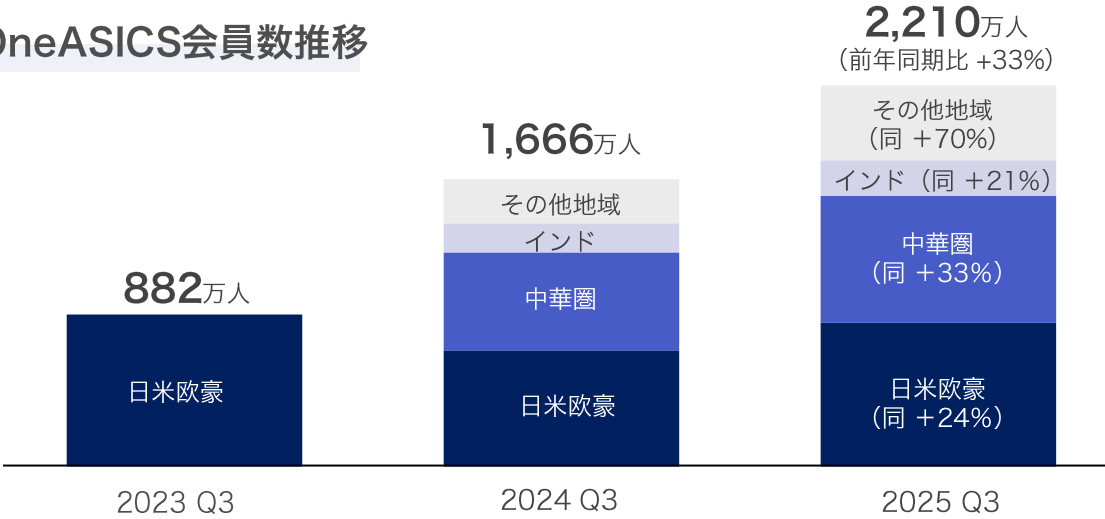
- OneASICS会員数は日米欧豪のみならず、中華圏・インド・その他地域でも順調に増加中。
- 日本においては、2022年に買収したレース登録会社アールビーズを通じてランナーとのデジタルタッチポイントを順調に拡大中

## EC売上高の推移

	2023年Q3	2024年Q3	2025年Q3	24Q3 vs 25Q3
EC売上高	765億円	1,010億円	1,105億円	+9.5%*

\*戦略的な絞り込みを行っている北米を除くと+28.2%

## OneASICS会員数推移



2023年Q4以前は、日米欧豪を中心とするプログラムの会員数を集計。  
 2024年Q1以降は、OneASICS経営を全社一丸で推進すべく、中国・インドなどで展開するローカルプログラムの会員数も含めて集計。  
 加えて、個人情報の扱いの観点から、アシックスプライバシーポリシーに基づき2年以上ご利用のないアカウントの失効・削除を実施。

## アールビーズを通じたランニングエコシステムの拡充

	2022年(9月末時点)	2025年(同左)
会員数	365万人	469万人
エントリー件数	100万件	145万件

## ランナーとのデジタルタッチポイントを広げるための取組みの一例

GPSトラッキングアプリTATTAを活用したバーチャルイベントの開催

2025年9月に約1.1万人が参加  
 うち2,831名が新規OneASICS会員

パーソナライズされたトレーニングのデータ分析の提供

アシックススポーツ工学研究所が持つランニングデータシステムを活用し、TATTA上でトレーニング内容の可視化を実装



# INDEX

1. 次期中計経営計画（2027年～2029年）に関して
2. 決算サマリー等
- 3. 連結業績の概要**
4. カテゴリー別連結経営成績
5. 地域別連結経営成績
6. 連結財政状態
7. 連結業績予想
8. IRカレンダー

Appendix

# 2025年12月期 第3四半期概要

## 売上高

6,250億円（前年同期 5,254億円）  
 前年同期比 : +996億円 +19.0%  
 為替影響除く : +1,072億円 +20.4%

### ☑ 過去最高。全カテゴリーで成長を継続。前年同期比+19.0%.

- ・ パフォーマンスランニングは、高付加価値商品にフォーカスし増収増益。アシックスジャパン、欧州、東南・南アジアで好調を継続。
- ・ スポーツスタイルは、全地域で増収。特に、北米、欧州、中華圏での伸長が全体の売上を牽引。
- ・ オニツカタイガーは、全地域で増収。特にインバウンド需要の強い日本、欧州、中華圏で大幅に成長。

## 営業利益

1,276億円（前年同期 915億円）  
 前年同期比 : +361億円 +39.4%  
 為替影響除く : +374億円 +40.9%

### ☑ 過去最高。前年同期比 約40%の大幅増益.

- ・ 粗利益率は56.5%。仕入為替の悪化があるものの、高付加価値製品への戦略的なシフトなどが奏功し、前年同期から+1.1ppt改善。
- ・ 営業利益率は前年同期の17.4%から20.4%へ（+3.0ppt）。

## 四半期純利益

863億円（前年同期 649億円）  
 前年同期比 : +214億円 +32.9%  
 為替影響除く : +225億円 +34.7%

### ☑ 過去最高。前年同期比 30%超の増益.

- ・ 上記増収増益に加えて、第2四半期で計上した固定資産売却益もあり増益。

# 連結損益計算書

再掲

(単位：億円)

第3四半期 (1-9月)	FY24Q3 実績	FY25Q3 実績	前年同期比 上段：増減額 下段：増減率
売上高	5,254	6,250	+996 +19.0%
売上総利益	2,909	3,531	+622 +21.4%
売上総利益率	55.4%	56.5%	+1.1ppt
販管費	1,994	2,255	+261 +13.1%
販管費率	38.0%	36.1%	△1.9ppt
人件費	619	683	+64 +10.4%
広告宣伝費	364	425	+61 +16.8%
広告宣伝費率	6.9%	6.8%	△0.1ppt
賃借料	106	113	+7 +6.1%
減価償却費	146	174	+28 +19.7%
その他経費	759	860	+101 +13.3%
営業利益	915	1,276	+361 +39.4%
営業利益率	17.4%	20.4%	+3.0ppt
経常利益	882	1,245	+363 +41.0%
特別損益	38	20	△18
親会社株主に帰属する 四半期純利益	649	863	+214 +32.9%

	FY24Q3 実績	FY25Q3 実績	増減額	増減率
海外売上高	4,263	5,063	+800	+18.8%
海外比率	81.1%	81.0%	-	△0.1ppt

為替影響除く	連結売上高増減	+1,072	+20.4%
	連結営業利益増減	+374	+40.9%
	連結純利益増減	+225	+34.7%

平均為替レート（円）	FY24Q3 実績	FY25Q3 実績
1ドル	150.69	148.76
1ユーロ	163.92	165.49
1人民元	21.00	20.61

# 連結損益計算書（3ヶ月期間）

（単位：億円）

第3四半期 (7-9月)	FY24Q3 実績	FY25Q3 実績	前年同期比 上段：増減額 下段：増減率
売上高	1,833	2,223	+390 +21.3%
売上総利益	1,009	1,247	+238 +23.7%
売上総利益率	55.0%	56.1%	+1.1ppt
販管費	683	782	+99 +14.6%
販管費率	37.3%	35.2%	△2.1ppt
人件費	216	243	+27 +12.7%
広告宣伝費	131	147	+16 +12.4%
広告宣伝費率	7.2%	6.6%	△0.6ppt
賃借料	37	47	+10 +24.4%
減価償却費	49	64	+15 +33.9%
その他経費	250	281	+31 +12.4%
営業利益	326	465	+139 +42.9%
営業利益率	17.7%	20.9%	+3.2ppt
経常利益	304	459	+155 +50.6%
特別損益	36	△1	△37
親会社株主に帰属する 四半期純利益	227	327	+100 +44.0%

	FY24Q3 実績	FY25Q3 実績	増減額	増減率
海外売上高	1,485	1,807	+322	+21.6%
海外比率	81.1%	81.3%	-	+0.2ppt

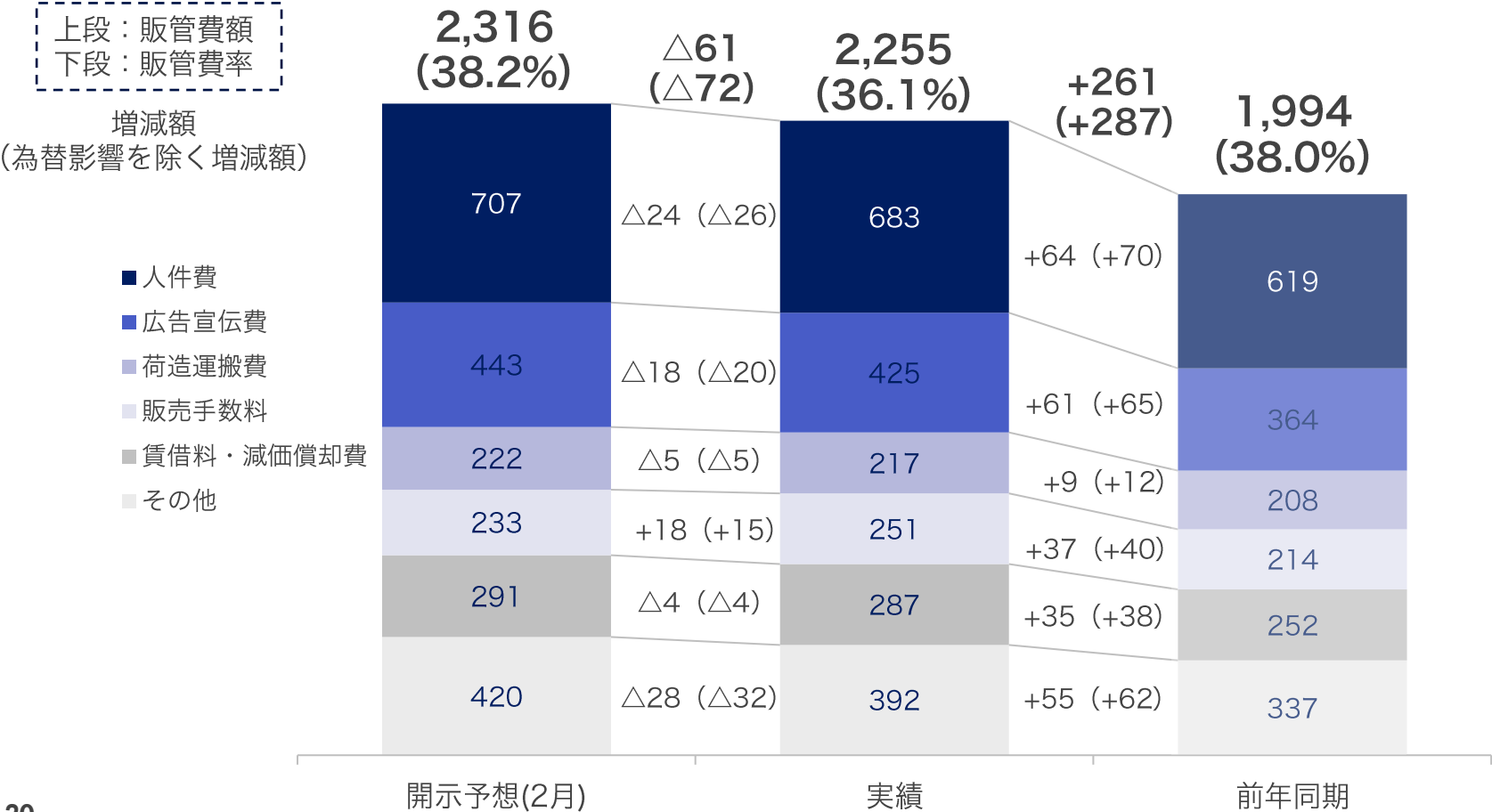
為替影響除く	連結売上高増減	+364	+19.9%
	連結営業利益増減	+135	+41.4%
	連結純利益増減	+95	+41.9%

四半期推移	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	2,083	1,944	2,223	
営業利益	445	366	465	
営業利益率	21.4%	18.8%	20.9%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	316	220	327	



# 販管費の状況

- ・ 開示予想(2月)比は、増収に加え、主に人件費、その他が減少したことにより、売上高販管費率は2.1ppt低下。
- ・ 前年同期比は、為替影響（△26億円）を除いて287億円の増加、販管費率は1.9ppt低下の36.1%。販管費増加の主要因はプロフィットシェア（+30億円）などの人的資本投資の強化による人件費、デジタル施策やWS向け施策関連の広告宣伝費、及び売上連動コストの増加。



平均為替レート (円)	FY25 開示予想 (2月)	FY25 実績	FY24 実績
1ドル	150.00	148.76	150.69
1ユーロ	160.00	165.49	163.92
1人民元	20.00	20.61	21.00

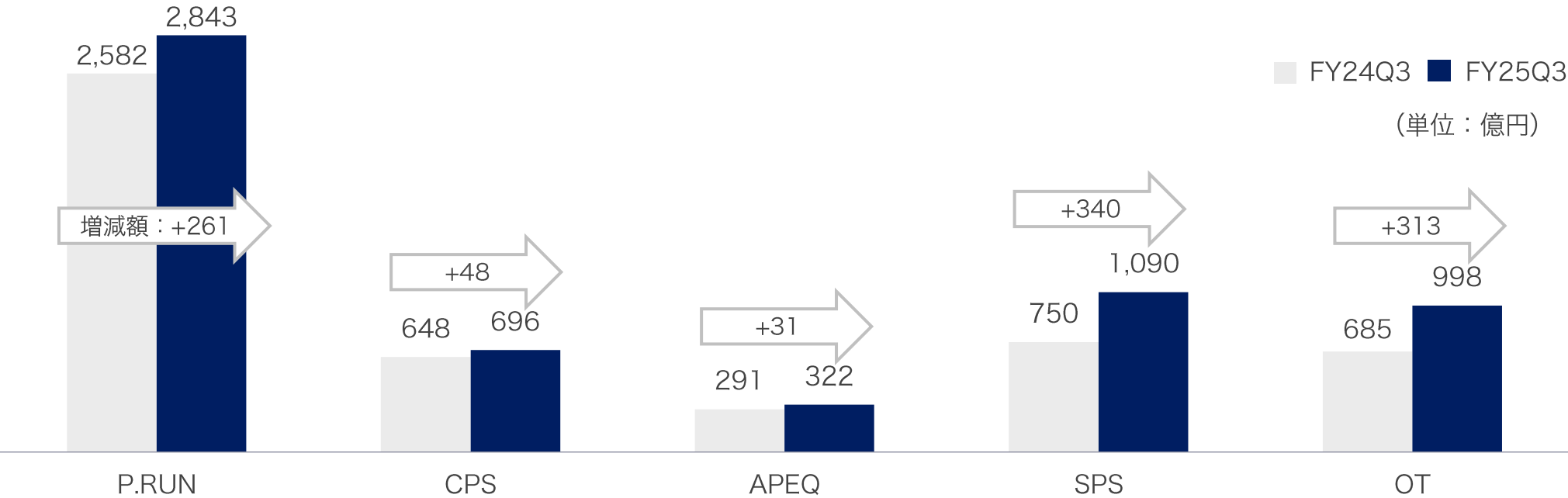
# INDEX

1. 次期中計経営計画（2027年～2029年）に関して
2. 決算サマリー等
3. 連結業績の概要
- 4. カテゴリー別連結経営成績**
5. 地域別連結経営成績
6. 連結財政状態
7. 連結業績予想
8. IRカレンダー

Appendix

## カテゴリー別連結売上高

- P.RUNは戦略的な絞り込みがあるものの、高付加価値商品にフォーカスし増収。特に、アシックスジャパン、欧州、東南・南アジアで大幅増収。
- SPSは全地域で大幅増収。特に、北米、欧州、中華圏での伸長が全体の売上を牽引。第3四半期累計で初めて1,000億円を突破。
- OTは全地域で大幅増収。特に、インバウンド需要の強い日本に加えて、欧州、中華圏でも大幅増収。



増減率	+10.1%	+7.3%	+10.7%	+45.2%	+45.7%
為替影響を除く	+11.8%	+8.5%	+11.8%	+46.8%	+46.9%

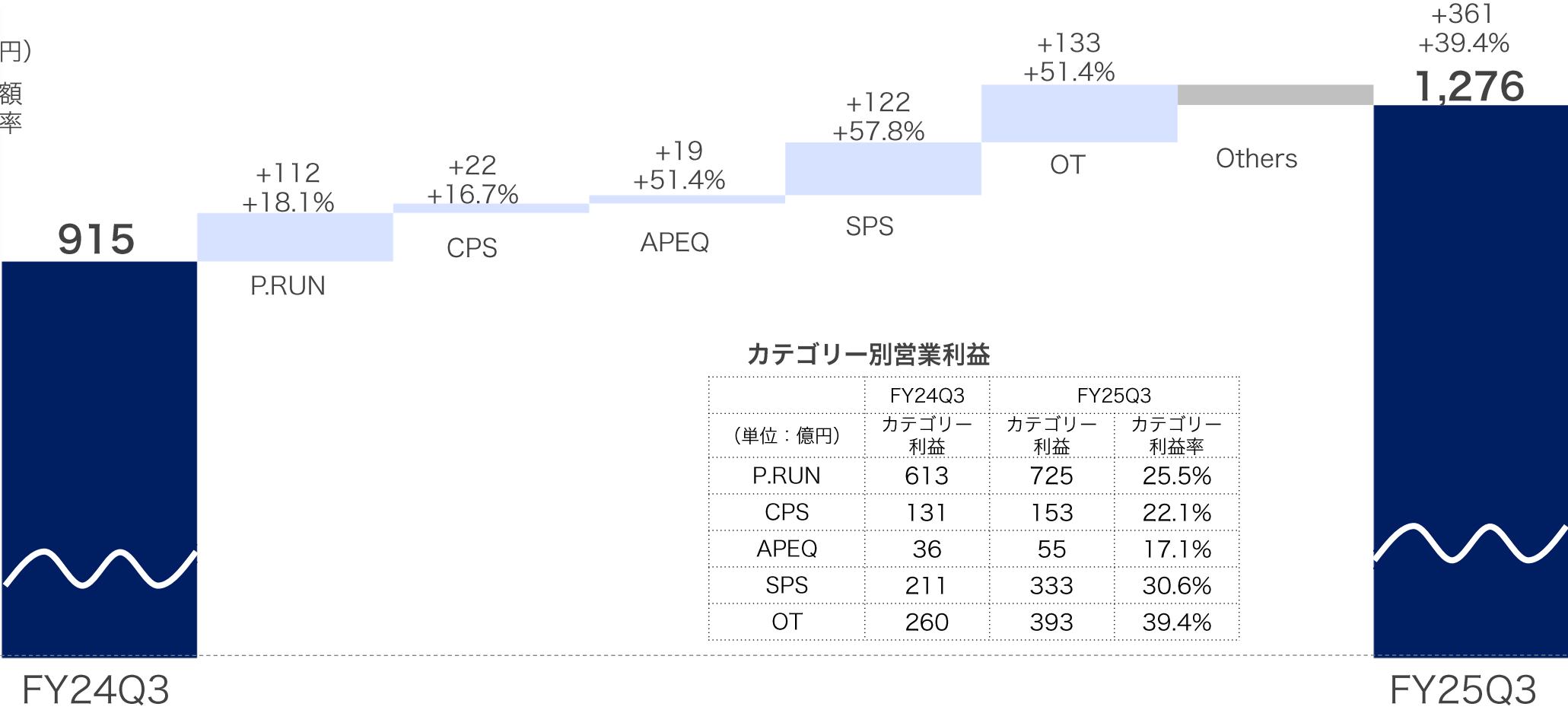
# 連結営業利益内訳（カテゴリー別）

- 全カテゴリーで増益. 特に、APEQ、SPS、OTでは50%超の大幅増益.
- カテゴリー利益率は、全カテゴリーで良化. SPSでは30%超、OTでは約40%と高水準を維持.

(単位：億円)

上段：増減額

下段：増減率



カテゴリー別営業利益			
(単位：億円)	FY24Q3	FY25Q3	
	カテゴリー利益	カテゴリー利益	カテゴリー利益率
P.RUN	613	725	25.5%
CPS	131	153	22.1%
APEQ	36	55	17.1%
SPS	211	333	30.6%
OT	260	393	39.4%

# カテゴリー利益等一覧

- カテゴリー利益は、主に、P.RUN、SPS、OTの大幅増収により、全カテゴリーで増益。
- 売上高は前年同期比+19.0%と増収も、カテゴリー外コストは、コストオーナー制の下、前年同期比+8.0%と売上増加率の範囲内でコントロール。

(単位：億円)

	P.RUN	CPS	APEQ	SPS	OT	Others	Total
売上高	2,843 (+261)	696 (+48)	322 (+31)	1,090 (+340)	998 (+313)	301 (+3)	6,250 (+996)
カテゴリー利益	725 (+112)	153 (+22)	55 (+19)	333 (+122)	393 (+133)		
カテゴリー外コスト							352 (+26)
連結営業利益							1,276 (+361)

( ) 内は前年同期比

# パフォーマンスランニング (P.RUN)

(単位：億円)

第3四半期 (1-9月)	FY24Q3	FY25Q3	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	2,582	2,843	+261	+10.1%
為替影響除く		2,886	+304	+11.8%
カテゴリ利益	613	725	+112	+18.1%
カテゴリ利益率	23.8%	25.5%	-	+1.7ppt

3ヶ月期間 (7-9月)	FY24Q3	FY25Q3	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	873	993	+120	+13.7%
為替影響除く		980	+107	+12.1%
カテゴリ利益	203	259	+56	+27.6%
カテゴリ利益率	23.3%	26.2%	-	+2.9ppt



## MEGABLAST

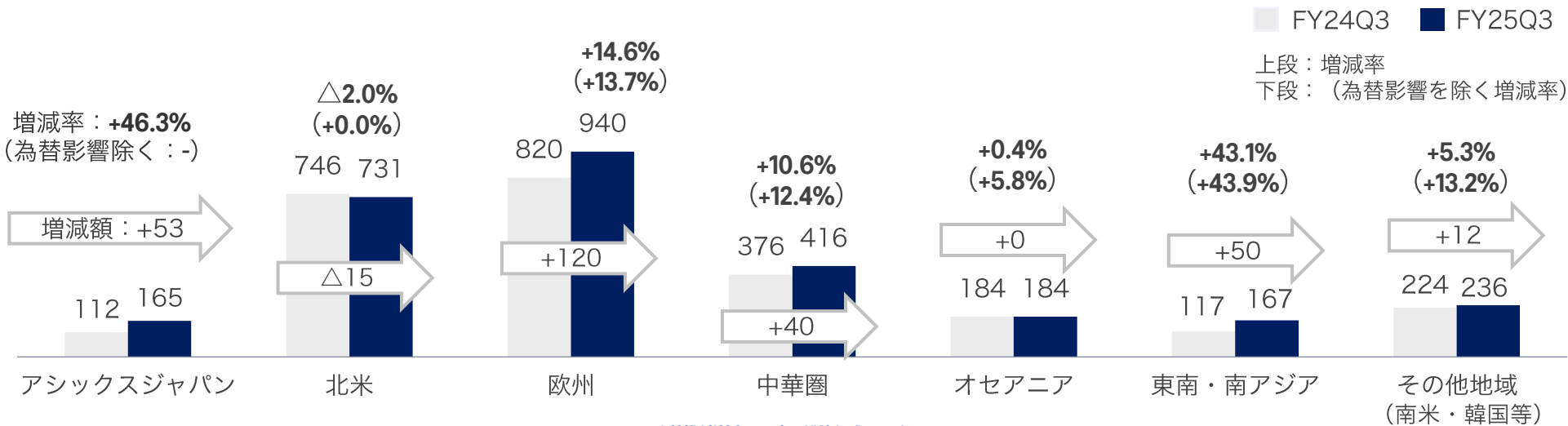
軽量で反発性に優れた新ミッドソール材“FF TURBO SQUARED”を使用。

様々なペースや距離に対応し、進化した反発性によって、弾むようなランニング体験を提供。

※ “FF TURBO”と比較し、約32.5%反発性が向上

## ポイント

- 売上高は、前年同期比+10.1%の増収（為替影響除きで+11.8%の増収）。主に好調なBOUNCEモデルが2倍超の増収となり引き続きP.RUNカテゴリーを牽引。
- 第3四半期3ヶ月期間の売上高は、主にアシックスジャパン、欧州、中華圏での伸長により増収。
- 粗利益率は、高付加価値商品へのフォーカスにより、53.6%（前年同期比+0.8ppt）と改善。
- 北米では戦略的な絞り込みがあるものの、ランニング専門店向け売上は前年同期比+26.9%の増収（為替影響除く）。引き続き強いモメンタムが継続中。
- マラソンシーズンの到来に合わせて、MAGIC SPEED 5を12月に発売。



# コアパフォーマンススポーツ (CPS)

(単位：億円)



GEL-RESOLUTION X NIGHT ENERGY

ベースラインでのラリーを得意とするプレーヤーに向けた、安定性に優れた  
テニスフラッグシップモデル。

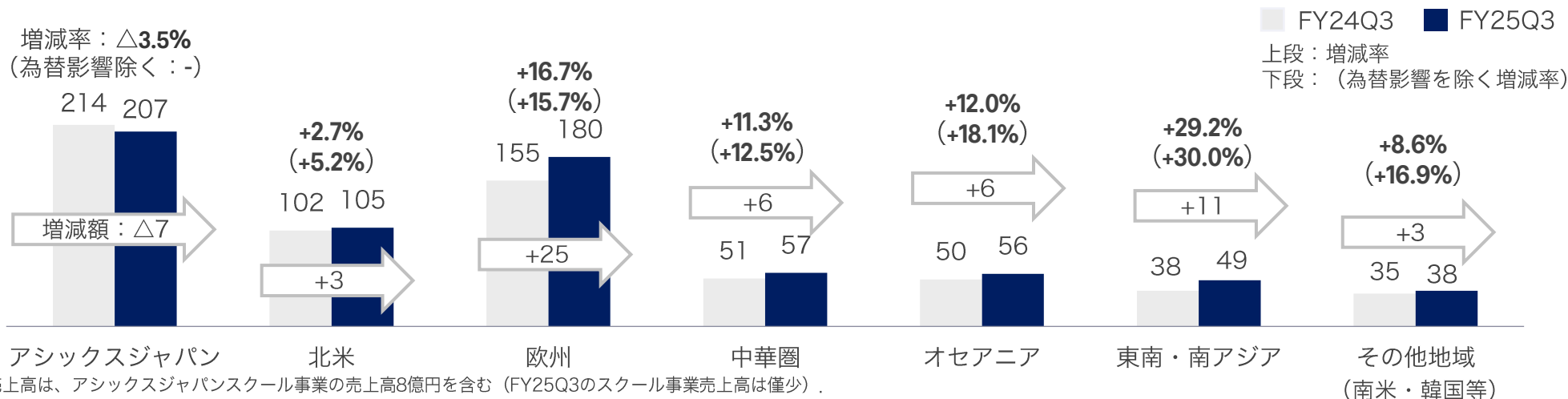


第3四半期 (1-9月)	FY24Q3	FY25Q3	前年同期比 増減額	増減率
売上高	※648	696	+48	+7.3%
為替影響除く		704	+56	+8.5%
カテゴリー利益	131	153	+22	+16.7%
カテゴリー利益率	20.3%	22.1%	-	+1.8ppt

3ヶ月期間 (7-9月)	FY24Q3	FY25Q3	前年同期比 増減額	増減率
売上高	227	254	+27	+11.8%
為替影響除く		253	+26	+10.6%
カテゴリー利益	51	60	+9	+17.6%
カテゴリー利益率	22.5%	23.6%	-	+1.1ppt

## ポイント

- 売上高は、スクール事業の縮小（※）などがあったものの、テニスやインドアスポーツ、バレーボールなどの伸長により増収。
- 第3四半期3ヶ月期間の売上高は、主にアシックスジャパン、欧州、東南・南アジアで増収。
- 粗利益率は、収益性の高いテニス、インドアスポーツ、バレーボールの売上増加が寄与し、47.3%（前年同期比+1.2ppt）と改善。
- カテゴリー利益は、特に欧州、中華圏、東南・南アジアの増収影響により増益。
- テニスの限定カラーパックNIGHT ENERGY COLLECTIONなど、契約選手着用アイテムを起点としたマーケティングコミュニケーションを実施。



※ FY24Q3の売上高は、アシックスジャパンスクール事業の売上高8億円を含む（FY25Q3のスクール事業売上高は僅少）。

© 2025 ASICS Corporation. All Rights Reserved.

# アパレル・エキップメント (APEQ)



## LIMITED SERIES

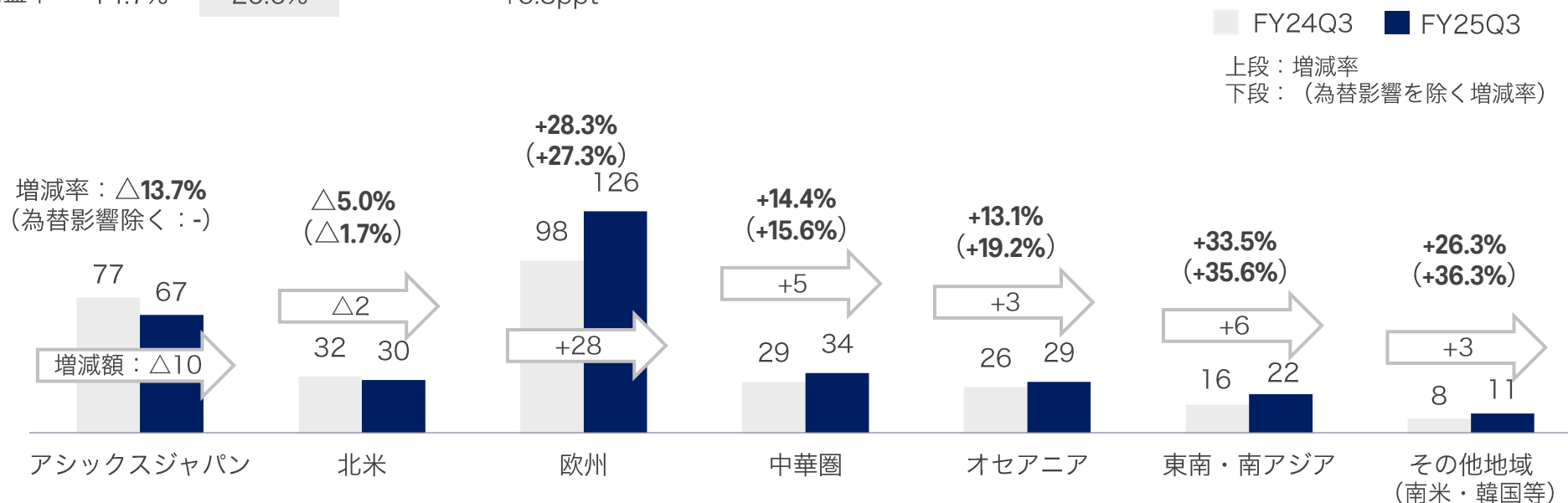
日本の伝統技法を用いたデザインとASICSアパレルのテクノロジーを兼ね備えた、フラッグシップとなるランニングアパレル。



第3四半期 (1-9月)		FY24Q3	FY25Q3	前年同期比	
				増減額	増減率
売上高		291	322	+31	+10.7%
為替影響除く			325	+34	+11.8%
カテゴリ利益		36	55	+19	+51.4%
カテゴリ利益率		12.5%	17.1%	-	+4.6ppt
3ヶ月期間 (7-9月)		FY24Q3	FY25Q3	前年同期比	
				増減額	増減率
売上高		104	122	+18	+17.5%
為替影響除く			121	+17	+15.9%
カテゴリ利益		15	24	+9	+60.0%
カテゴリ利益率		14.7%	20.0%	-	+5.3ppt

## ポイント

- 売上高は、ランニング商品が好調な欧州に加え、中華圏、東南・南アジアでも増収し、カテゴリ全体で前年同期比+10.7%の増収。
- 第3四半期3ヶ月期間の売上高は、主に欧州、オセアニアでの伸長により増収。
- 粗利益率は、アシックスジャパンにおけるスクール事業の縮小などもあり、54.6%（前年同期比+2.4ppt）と改善。
- カテゴリ利益は、欧州の大幅増収により増益。
- AW25 LIMITED SERIESでは走り出すアスリートの動きを模したトンボのモチーフをデザインに取り入れた商品を展開。





# スポーツスタイル (SPS)

(単位：億円)



GEL-CUMULUS 16

2014年に発売されたクッションングランニングシューズが、快適なライフスタイルシューズとして再登場。

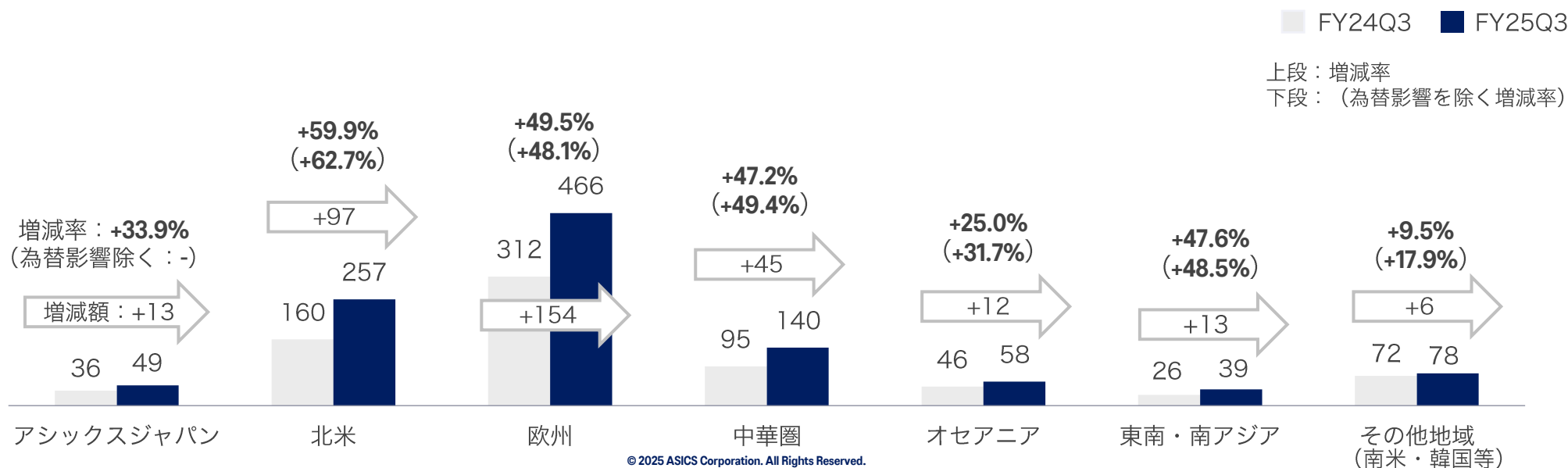


第3四半期 (1-9月)		FY24Q3	FY25Q3	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高		750	1,090	+340	+45.2%
為替影響除く			1,102	+352	+46.8%
カテゴリー利益	211		333	+122	+57.8%
カテゴリー利益率	28.1%		30.6%	-	+2.5ppt
3ヶ月期間 (7-9月)		FY24Q3	FY25Q3	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高		290	417	+127	+43.4%
為替影響除く			411	+121	+41.3%
カテゴリー利益	82		126	+44	+53.7%
カテゴリー利益率	28.5%		30.4%	-	+1.9ppt

## ポイント

※AppendixにSPSのフルラインナップを掲載

- 売上高は、前年同期比で大幅増収。
- 第3四半期3ヶ月間の売上高も、VINTAGE TECHのGEL-1130やGEL-KAYANO14、MODERNのGEL-NYCが好調を維持。全地域で大幅成長。
- WSチャンネルで販売スペースや取扱い店舗数の増加と好調な販売により、大きく成長した結果、粗利益率50.6%（前年同期比△0.3ppt）。
- カテゴリー利益は、特に北米と欧州の増収と効率的なマーケティング施策により増益。
- GEL-CUMULUS16はコラボレーションで注目度を高め、VINTAGE TECHの更なる拡充を狙う。今後特に女性向け施策の充実を図る。



# オニツカタイガー (OT)

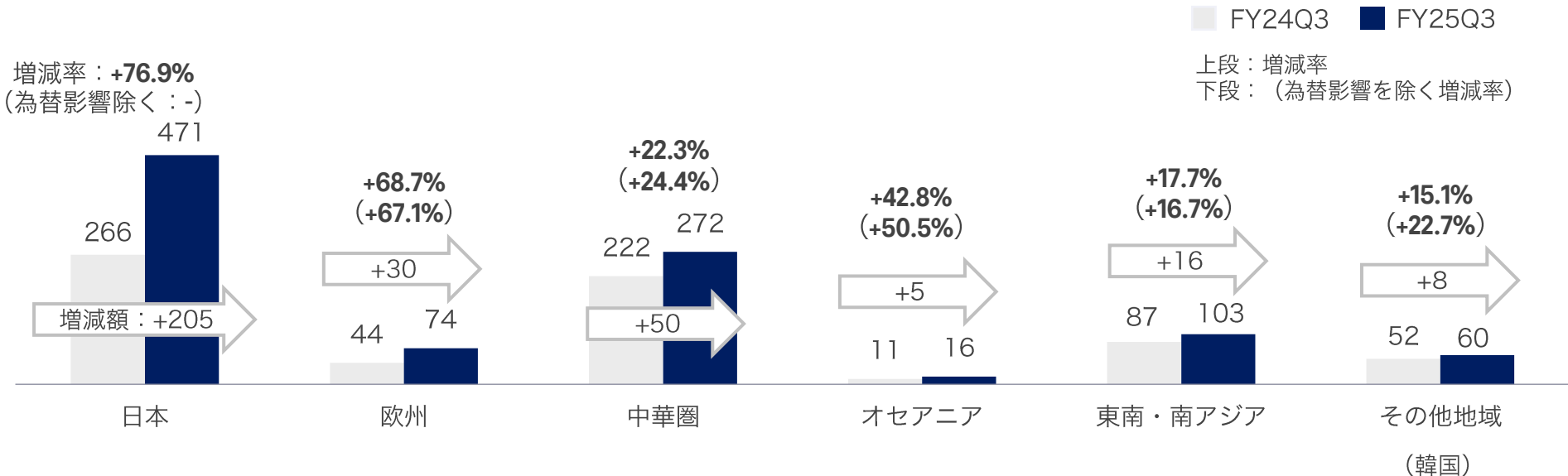
第3四半期 (1-9月)		FY24Q3	FY25Q3	前年同期比	
売上高		685	998	増減額	増減率
為替影響除く			1,006	+321	+46.9%
カテゴリー利益		260	393	+133	+51.4%
カテゴリー利益率		37.9%	39.4%	-	+1.5ppt
3ヶ月期間 (7-9月)		FY24Q3	FY25Q3	前年同期比	
売上高		246	339	増減額	増減率
為替影響除く			338	+92	+37.4%
カテゴリー利益		93	136	+43	+46.2%
カテゴリー利益率		37.9%	40.1%	-	+2.2ppt



TIGRUN  
ULTI RSTMシリーズから、ランニングシューズの機能性と、  
ファッションアイテムとしての洗練されたデザインを融合した一足。

## ポイント

- 売上高は、インバウンド売上が好調な日本に加え、欧州、中華圏で大幅増収。
- 第3四半期累計のインバウンド売上は287億円（前年同期比+108.1%）となり、日本国内売上も40%超の成長。
- 粗利益率は74.9%（前年同期比+0.7ppt）と引き続き高水準で推移。
- 9月、ミラノ・ファッションウィークで過去最大規模のショーを開催し、同時にヴェルサーチとのコラボレーションを発表。
- ホリデーシーズンの到来に合わせてグリッター素材の「HOLIDAY PACK」を発売。
- イタリア現地の職人技とレザーを活かした新作「ITALIAN MADE」シリーズを販売開始。



# INDEX

1. 次期中計経営計画（2027年～2029年）に関して
2. 決算サマリー等
3. 連結業績の概要
4. カテゴリー別連結経営成績
- 5. 地域別連結経営成績**
6. 連結財政状態
7. 連結業績予想
8. IRカレンダー

Appendix

# 地域別売上高

- ・ アシックスジャパンは、パフォーマンスランニング (+46.3%)、スポーツスタイル (+33.9%)、インバウンドが好調なOT (+76.9%) により+34.5%の成長。
- ・ 北米は、不採算店舗の閉鎖及びECでの販売商品の戦略的な絞り込みを行いながらも、前年同期比で+10.2%の増収。
- ・ 欧州は、パフォーマンスランニングの堅調な成長を軸に、スポーツスタイルの増収 (+48.1%) が牽引し、+24.0%と成長を維持。
- ・ 中華圏は、ローカル需要を捉える商品が引き続き好調に推移し、+20.6%と大幅な増収を継続。

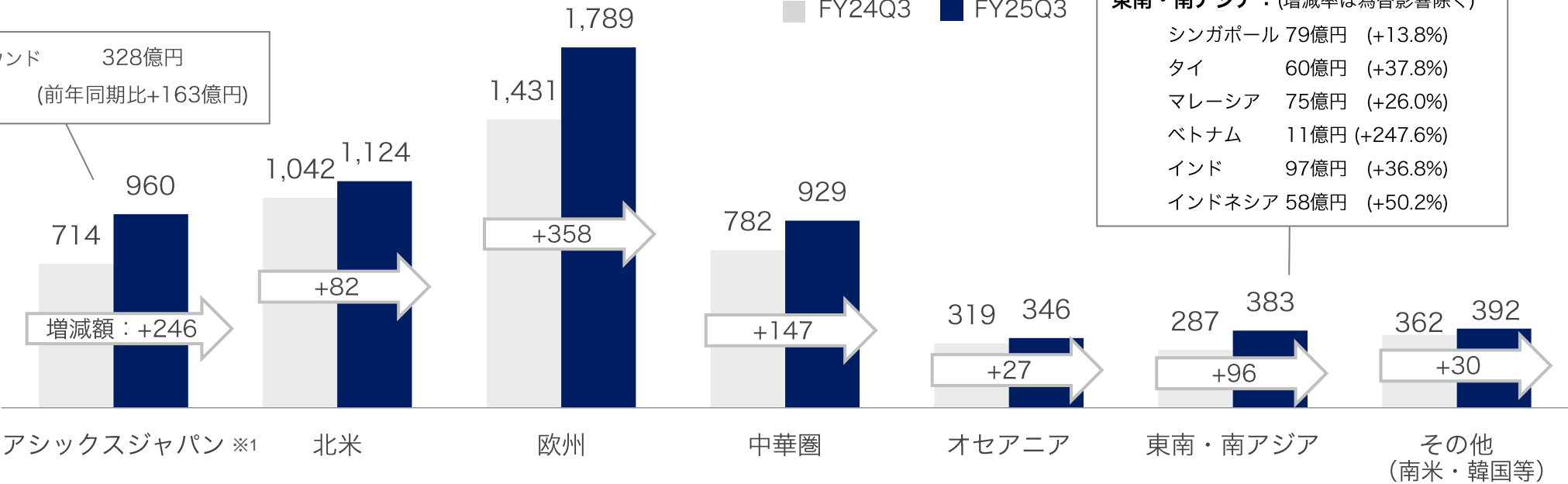
(単位：億円)

うちインバウンド  
売上高 328億円  
(前年同期比+163億円)

■ FY24Q3 ■ FY25Q3

東南・南アジア：(増減率は為替影響除く)

シンガポール 79億円 (+13.8%)  
タイ 60億円 (+37.8%)  
マレーシア 75億円 (+26.0%)  
ベトナム 11億円 (+247.6%)  
インド 97億円 (+36.8%)  
インドネシア 58億円 (+50.2%)

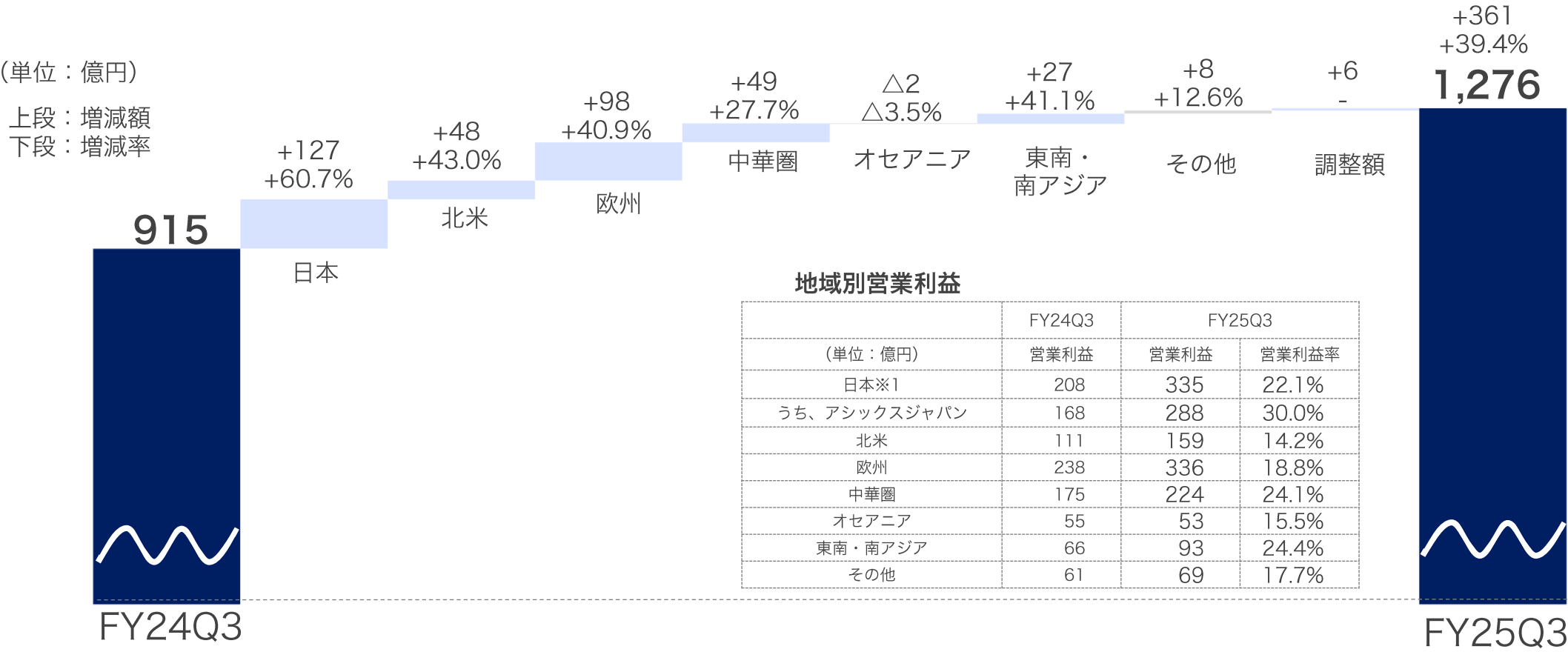


増減率	+34.5%	+7.9%	+25.0%	+18.8%	+8.4%	+33.3%	+8.3%
為替影響を除く	-	+10.2%	+24.0%	+20.6%	+14.3%	+33.6%	+17.1%

※1 決算短信における日本地域の売上は、前年同期1,241億円、当期1,520億円です。当説明資料においては、他の地域との比較可能性を考え、主要5カテゴリーを販売するアシックスジャパンとしております。

# 連結営業利益内訳（地域別）

- アシックスジャパンは、APEQの収益性改善やOTの増収により、粗利益率が向上。販管費率の低下もあり営業利益率30.0%と大幅に改善。
- 北米は、関税の影響があるも、SPSの増収、リテールの収益性改善などにより、営業利益率は14.2%（前年同期比+3.5ppt）。
- 欧州は、増収に加え、仕入為替の悪化があるものの販売価格適正化などが奏功し、営業利益率は18.8%（前年同期比+2.1ppt）。
- 中華圏は、販売価格適正化やDTC比率の向上による粗利益率の改善もあり、営業利益率は24.1%（前年同期比+1.6ppt）。

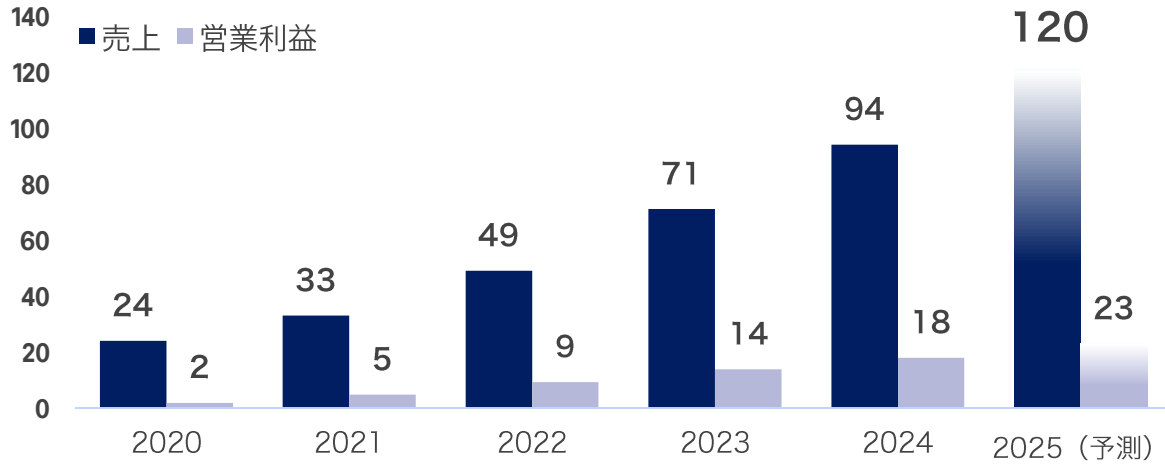


※1 日本地域には、アシックスジャパンの他、アシックス商事、ニシスポーツなどの会社を含みます。

# インドにおける取組み

## 業績推移

(単位：億円)



## アシックス DTC戦略

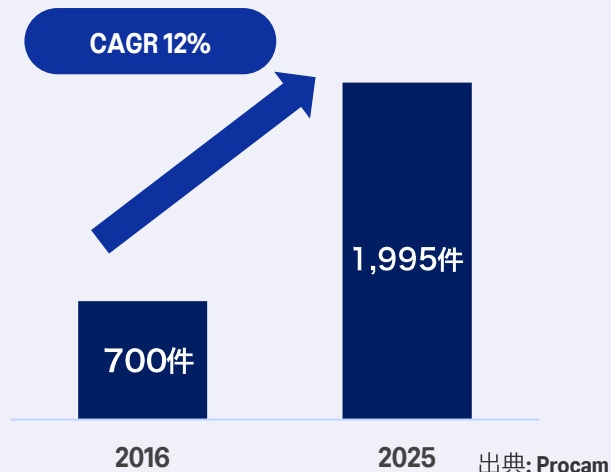
2024年4月 ECサイト”ASICS.co.in”を開設

2025年10月 インド初の直営店をデリー首都圏にオープン、DTCチャネル拡大にも注力



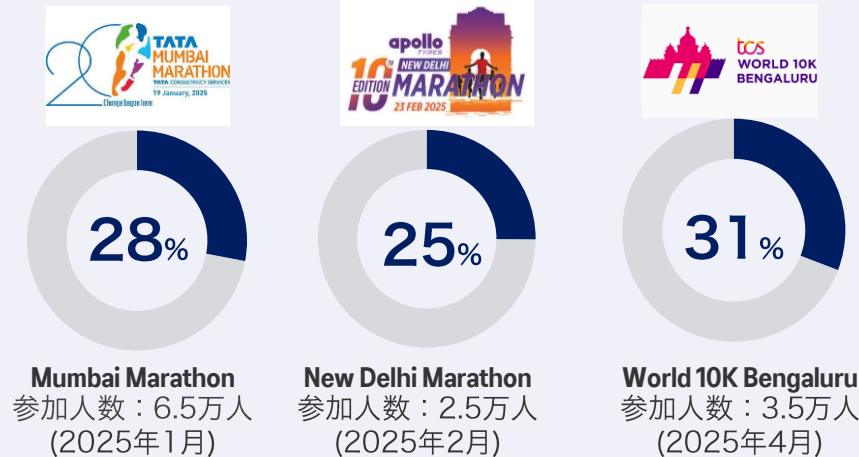
## ランニングマーケットの拡大

ランニング大会数が急速に増加、市場が拡大中



## アシックスのプレゼンス強化

ムンバイマラソン、ワールド10KベンガルールではシェアNo.1



出典: ムンバイ - Jewell Running Group, New Delhi & Bengaluru - 自社調べ

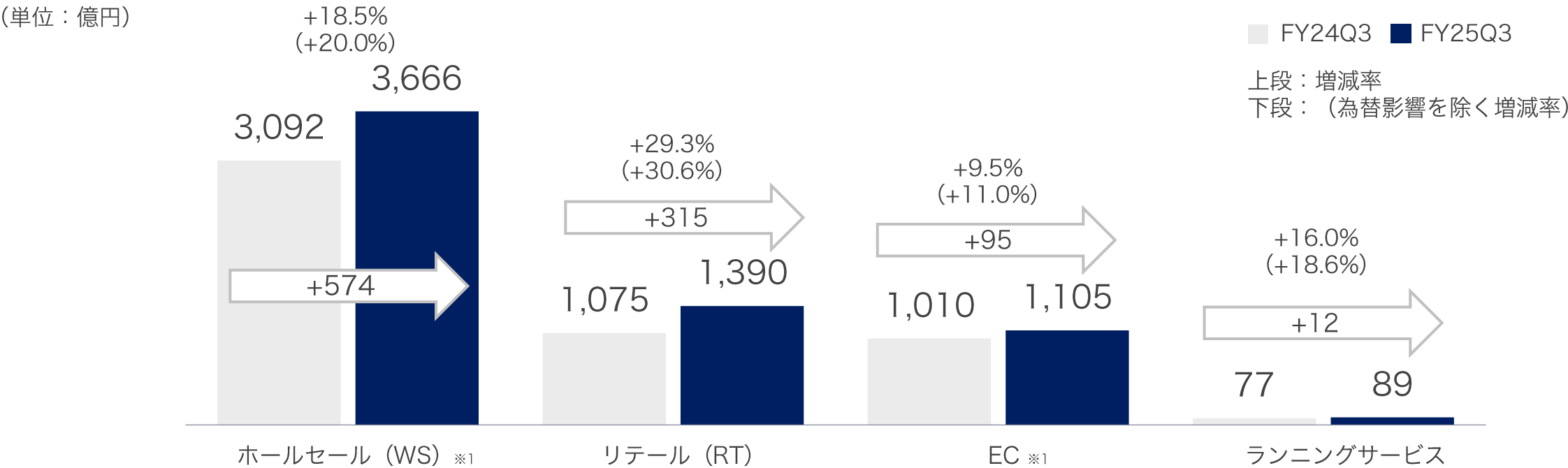
## 生産体制の強化

2016年	インドでのOEM生産を開始
2026年	本社執行役員が現地生産責任者として赴任（予定）
2027年	台湾系OEM工場がチェンナイ（タミル・ナードウ州）で稼働予定

まずはインド国内向け商品を生産、  
将来的にはグローバルサウスや欧州向けの輸出を展望

# チャンネル別売上高

- ホールセールは、北米、欧州、東南・南アジアの増収により前年同期比+20.0% (北米+34.6%、欧州+27.1%、東南・南アジア+31.6%) .
- リテールは、日本、中華圏、東南・南アジアなどの増収により前年同期比+30.6% (アシックスジャパン +72.2%、中華圏 +21.6%、東南・南アジア+24.5%) . 営業利益率は大きく改善し、24.6%に (前年同期比+5.2ppt) .
- ECは、前年同期比+11.0%、営業利益率は20.8% (前年同期比+5.0ppt) . 但し、戦略的な絞り込みを行っている北米を除くと約30%の成長.



チャンネル別 売上高構成	58.8%	▶	58.7%	20.5%	▶	22.2%	19.2%	▶	17.7%	1.5%	▶	1.4%

※1 自社ECサイトとマーケットプレイスはECに含み、ホールセールEリテラーはホールセールに含んでおります。

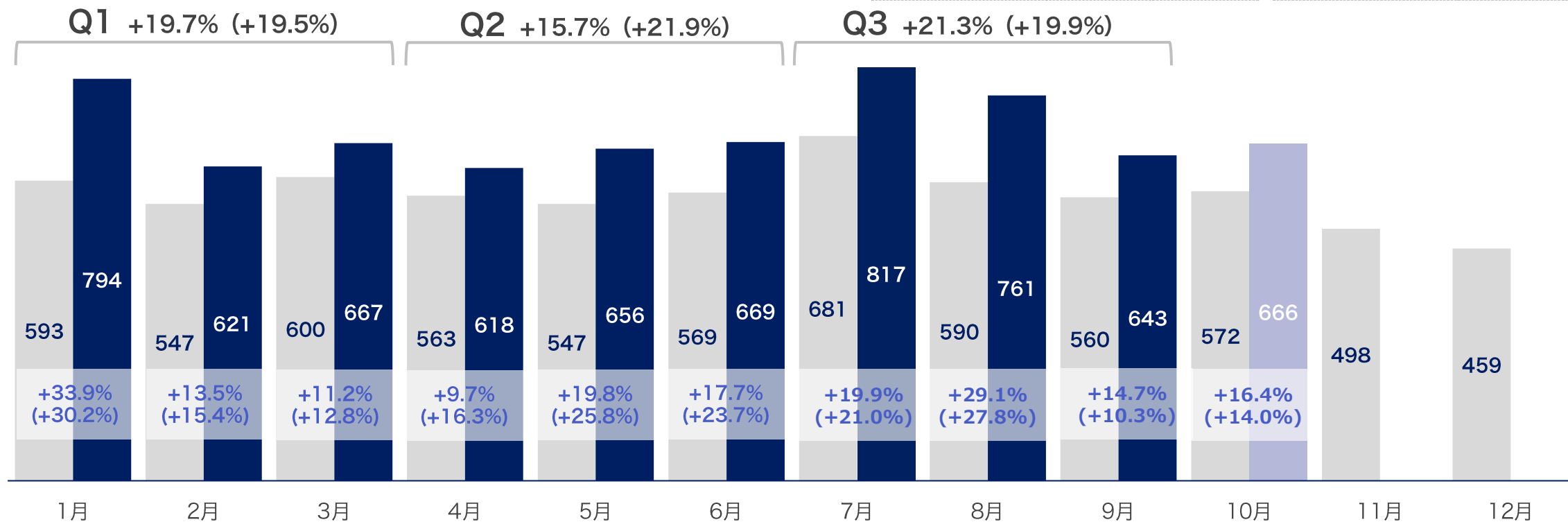
## 連結売上高（月別・四半期別）

■ FY25  
■ FY24  
■ 売上速報  
■ 前年同月比%（為替影響を除く増減率）

- 25年10月単月売上は666億円※、前年同月比+16.4%（為替影響除くと+14.0%）。
- SPSは+27.6%（為替影響除くと+24.3%）、OTは+38.2%（為替影響除くと+37.8%）と引き続き大幅増収。
- 地域別では、アシックスジャパン、中華圏、オセアニアなどで大幅増収。アシックスジャパンのインバウンド売上は52億円（内、OT 45億円）と単月過去最高。前年同月の30億円（内、OT 26億円）を大きく上回る（+71.6%増収）。

（単位：億円）

10月度主要地域売上	売上高	為替影響を除く増減率		売上高	為替影響を除く増減率
連結	666	+14.0%	中華圏	126	+38.3%
アシックスジャパン	114	+33.1%	オセアニア	38	+36.4%
北米	107	+2.8%	東南・南アジア	37	+21.2%
欧州	151	△5.1%	その他	89	+4.9%



※ 2025年10月の売上高は速報データに基づいているため、確定データとは差異が生じることがあります。



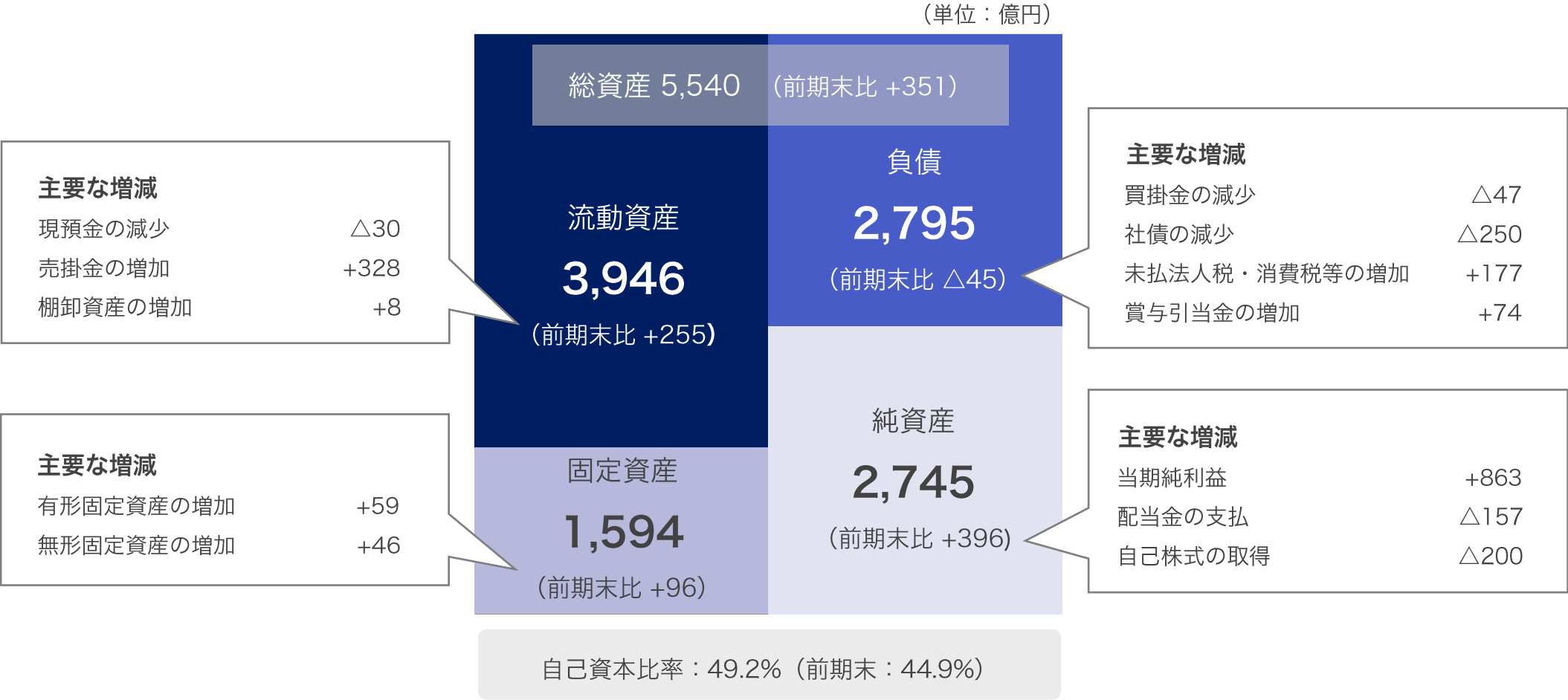
# INDEX

1. 次期中計経営計画（2027年～2029年）に関して
2. 決算サマリー等
3. 連結業績の概要
4. カテゴリー別連結経営成績
5. 地域別連結経営成績
6. 連結財政状態
7. 連結業績予想
8. IRカレンダー

Appendix

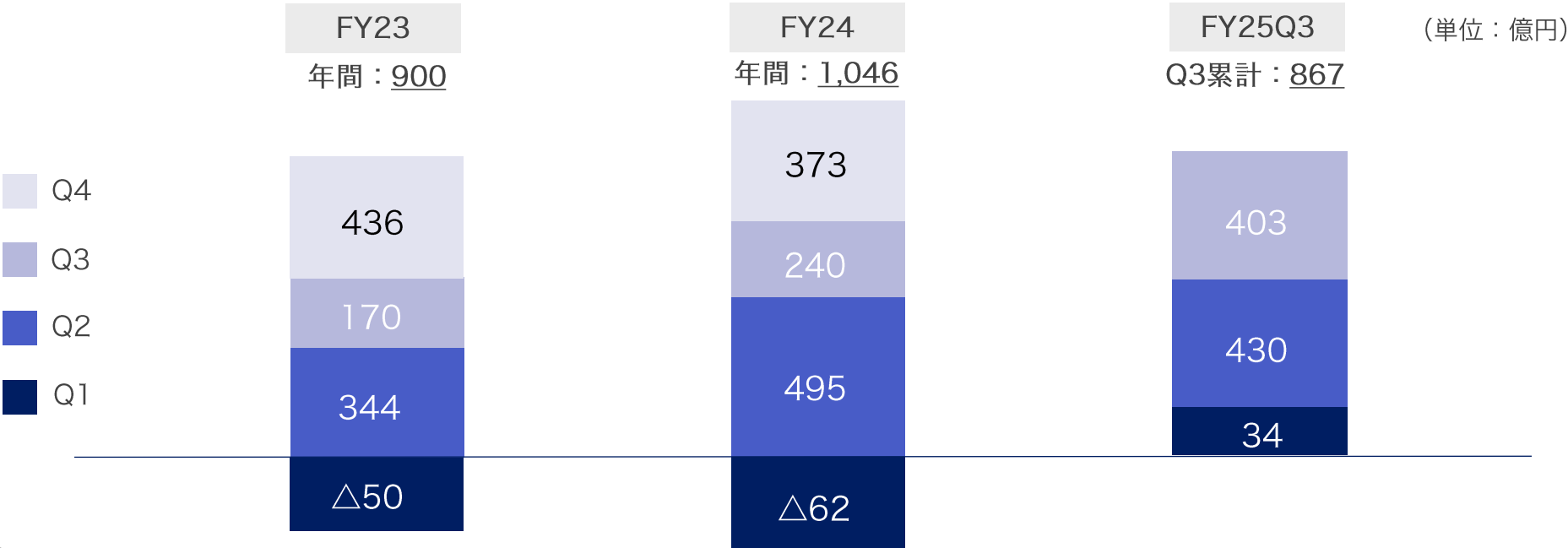
# 連結貸借対照表

- 増収に伴い売掛金は増加。一方で棚卸資産は、継続的な在庫管理の強化により、前年並の水準に抑制。
- 堅調な営業キャッシュ・フローを活用し、自己株式取得（200億円）や期末・中間配当（157億円）、社債償還（250億円）に対応。



# 連結営業キャッシュ・フロー

- 連結営業キャッシュ・フローは、好調な業績を受け第3四半期累計で867億円を確保。
- 連結CCCは、DIOの改善（151日→147日）などに伴い前年同期比で14日良化し、営業キャッシュ・フローの拡大に寄与。



## ■連結CCC

	FY24Q3	FY24Q4	FY25Q3	前年同期比	前期末比
DSO (売掛債権回転期間)	51	49	45	6日良化	4日良化
DIO (棚卸資産回転期間)	151	151	147	4日良化	4日良化
DPO (買掛債務回転期間)	61	64	65	4日良化	1日良化
CCC	141	136	127	14日良化	9日良化
参考：現預金残高	1,153億円	1,270億円	1,239億円	+86億円	△31億円

# カテゴリー別／主要地域別DIO及び棚卸資産

- カテゴリー別では、全カテゴリーにおいて前年同期比でDIOが改善。
- 主要地域別では、アシックスジャパンは高いインバウンド需要への対応として、OTを中心に戦略的な在庫積み増しを実施。

■連結DIO（単位：億円）		FY24Q3	FY24Q4	FY25Q3	前年同期比	前期末比
連結	DIO	151日	151日	147日	△4日	△4日
	棚卸資産	1,139	1,375	1,383	+244	+8

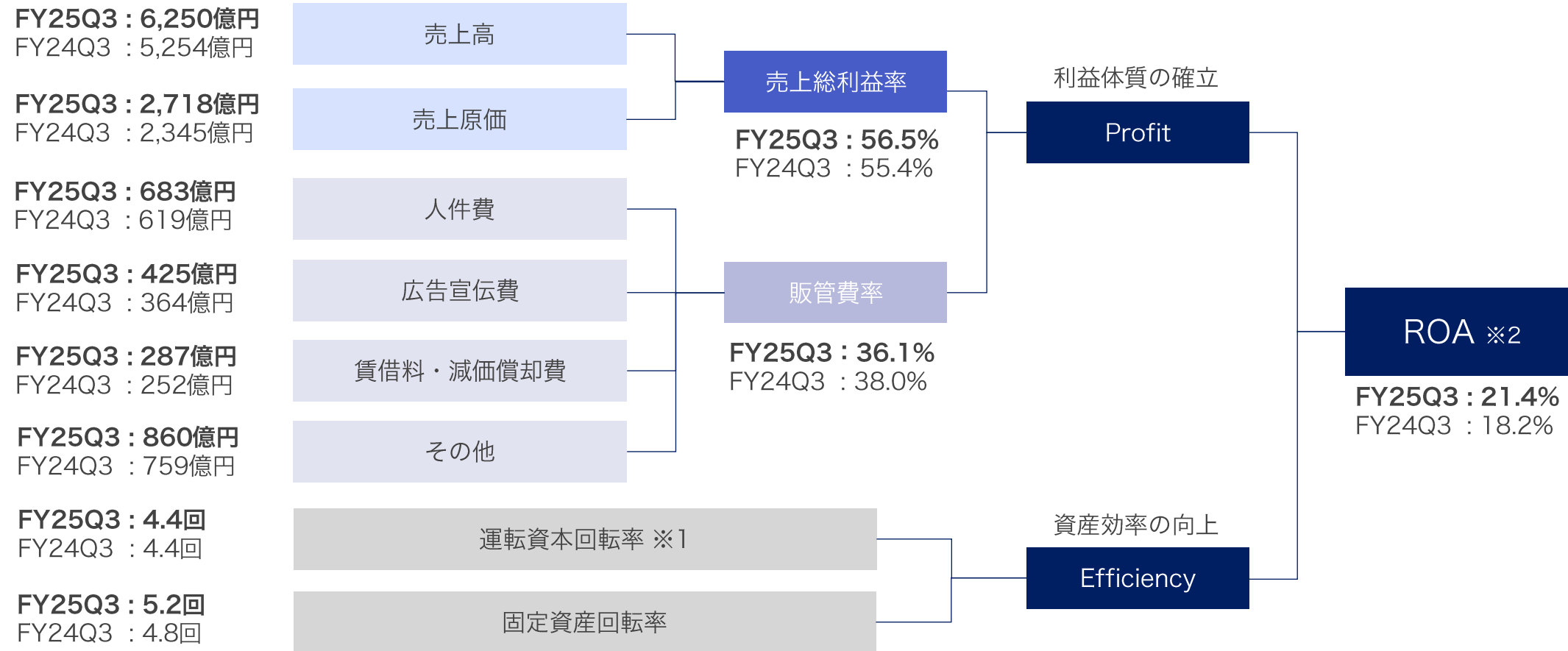
■カテゴリー別（単位：億円）※		FY24Q3	FY24Q4	FY25Q3	前年同期比	前期末比
P.RUN	DIO	108日	105日	94日	△14日	△11日
	棚卸資産	414	496	459	+45	△37
CPS	DIO	99日	95日	87日	△12日	△8日
	棚卸資産	93	134	103	+10	△31
APEQ	DIO	168日	161日	153日	△15日	△8日
	棚卸資産	85	78	92	+7	+14
SPS	DIO	89日	87日	81日	△8日	△6日
	棚卸資産	115	146	178	+63	+32
OT	DIO	219日	211日	206日	△13日	△5日
	棚卸資産	187	194	224	+37	+30

※ カテゴリー別棚卸資産残高には洋上在庫を含めておりません。

■主要地域別（単位：現地通貨）		FY24Q3	FY24Q4	FY25Q3	前年同期比	前期末比
アシックスジャパン （億円）	DIO	116日	122日	134日	+18日	+12日
	棚卸資産	121	166	161	+40	△5
米国 （M USD）	DIO	136日	124日	106日	△30日	△18日
	棚卸資産	146	143	144	△2	+1
欧州 （M EUR）	DIO	164日	155日	140日	△24日	△15日
	棚卸資産	191	234	215	+24	△19
中国 （M RMB）	DIO	166日	170日	172日	+6日	+2日
	棚卸資産	825	926	955	+130	+29

# ROAツリー分解

- 主に高付加価値製品への戦略的なシフトが奏功し売上総利益率が良化したほか、増収及び規律ある販管費コントロールにより販管費率も低下。
- 固定資産回転率が改善したことにより資産効率が向上。



※1 社内目標として運転資本を設定しているため流動資産回転率ではなく運転資本回転率を記載しております。

※2 ROA =  $\frac{2025\text{年}12\text{月期第3四半期純利益}}{(2024\text{年}12\text{月期期末総資産} + 2025\text{年}12\text{月期第3四半期総資産}) \div 2} \times \frac{4}{3}$

# INDEX

1. 次期中計経営計画（2027年～2029年）に関して
2. 決算サマリー等
3. 連結業績の概要
4. カテゴリー別連結経営成績
5. 地域別連結経営成績
6. 連結財政状態
- 7. 連結業績予想**
8. IRカレンダー

Appendix

- 2025年12月期第3四半期は全カテゴリー、主要地域で順調に進捗。
- 2025年12月期は、各カテゴリーの足元の好調な状況を考慮した結果、売上高は前年比+17.9%増収の8,000億円、営業利益は同+39.8%増益の1,400億円を見込む。
- 剰余金の配当は、当期の業績やキャッシュ・フローの見通しを総合的に勘案した結果、期末配当16円、通期では28円を見込む。
- 好調な業績及びキャッシュ・フローの見通しを踏まえ、総額300億円の自己株式取得を決定。

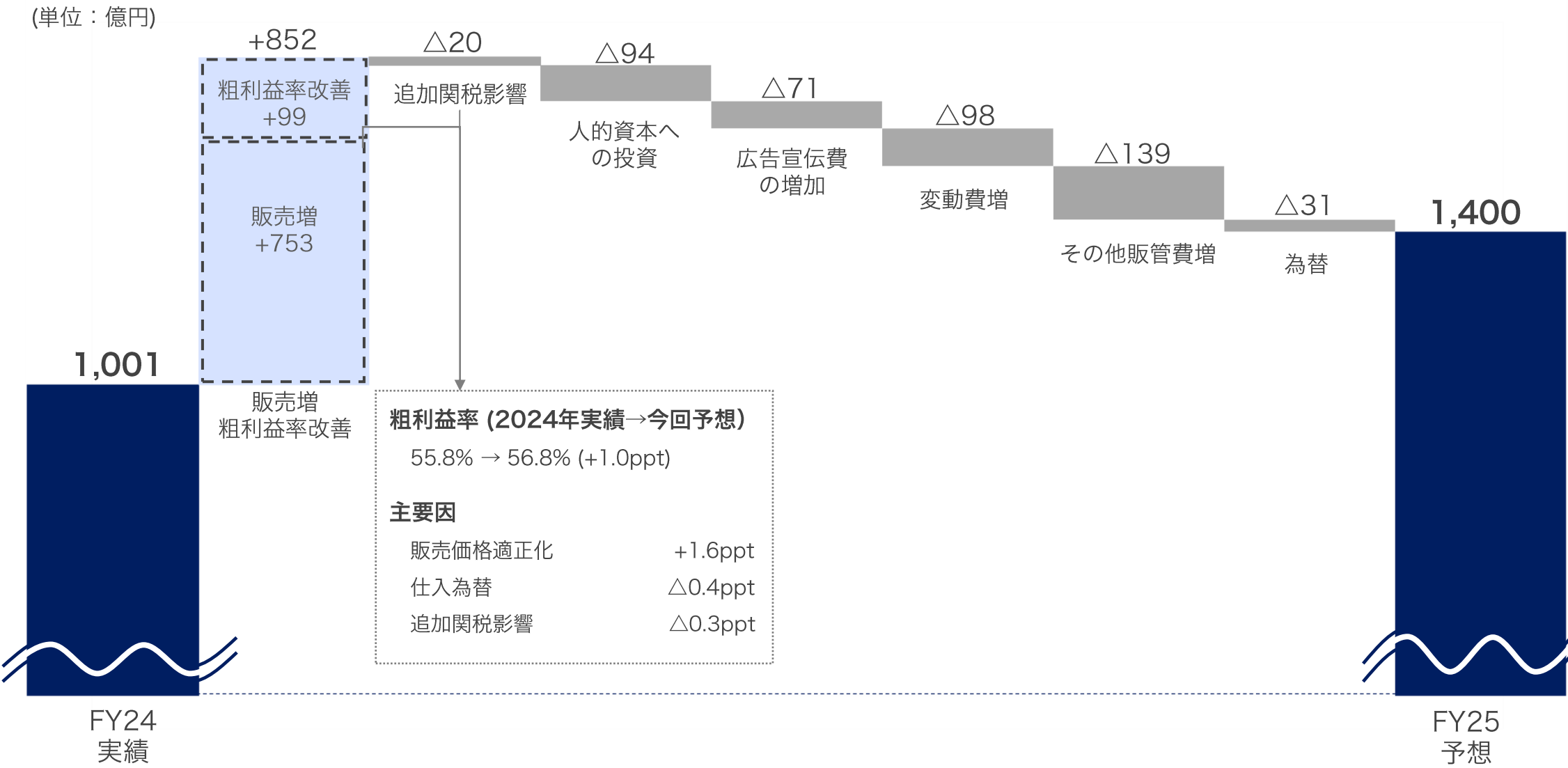
(単位：億円)			FY24 実績	FY25 8月開示予想	FY25 予想	FY24比 増減率	(ご参考) 為替影響除く増減率
売	上	高	6,785	8,000	8,000	+17.9%	+19.9%
営	業	利 益	1,001	1,360	1,400	+39.8%	+43.0%
営	業	利 益 率	14.8%	17.0%	17.5%	+2.7ppt	-
経	常	利 益	926	1,310	1,350	+45.8%	-
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る							
当	期	純 利 益	638	870	900	+41.1%	-

配当金	(※) 中間	期末	通期
2024年12月期	10.0円	10.0円	20.0円
2025年12月期	12.0円	16.0円	28.0円

為替レート	USD	EUR	RMB
2024年12月期	151.36	163.66	21.06
2025年12月期	150.00	160.00	20.00

※ 2024年7月1日を効力発生日として1：4の株式分割を実施(分割前40円).

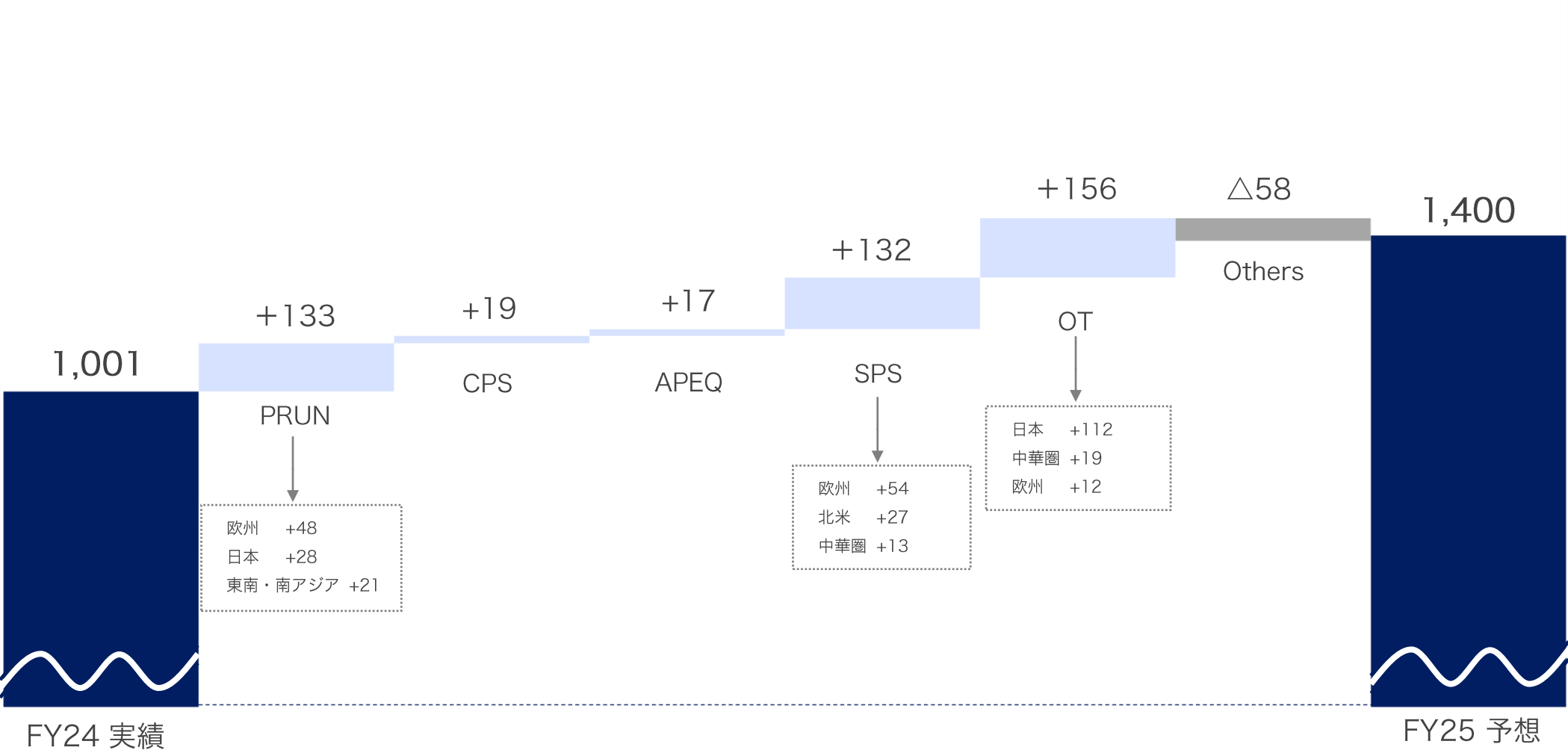
# 2025年12月期 連結営業利益予想増減：要素別（前年比）





# 2025年12月期 連結営業利益予想増減：カテゴリー別（前年比）

(単位：億円)



# 2025年12月期 販管費

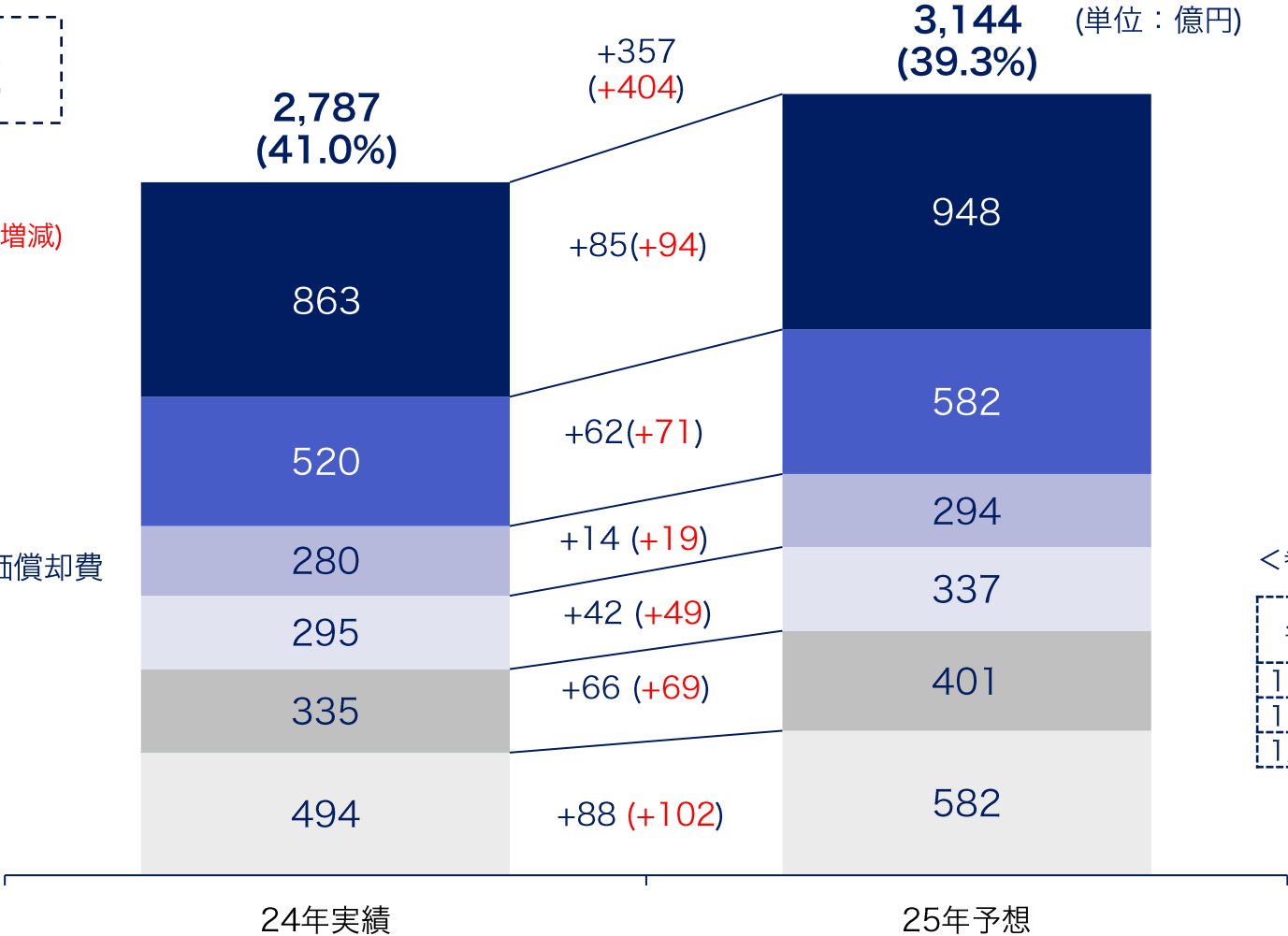
- 2025年の販管費は、前年比で357億円増の3,144億円.
- 主な増加要因は、人的資本投資の強化による人件費増加や広告宣伝費の増加及び増収に伴う変動費の増加.
- 販管費率は39.3%、引き続き規律ある販管費コントロールを実施.

上段：金額

下段：(率)

- 増減

(為替影響除く増減)
- 人件費
  - 広告宣伝費
  - 荷造運搬費
  - 販売手数料
  - 賃借料・減価償却費
  - その他



<参考：平均為替レート(円)>

年間(1~12月)	FY24実績	FY25予想
1ドル	151.36	150.00
1ユーロ	163.66	160.00
1人民元	21.06	20.00

# INDEX

1. 次期中計経営計画（2027年～2029年）に関して
2. 決算サマリー等
3. 連結業績の概要
4. カテゴリー別連結経営成績
5. 地域別連結経営成績
6. 連結財政状態
7. 連結業績予想
- 8. IRカレンダー**

Appendix

主なイベント			
2025年	11月15日（土）	11:00 – 13:30 15:00 – 17:30	個人投資家様向け IR説明会 @名古屋
	11月20日（木）	16:00 – 17:30	インベストメントデイ（テーマ：パフォーマンスランニング戦略）
	12月14日（日）	11:00 – 13:30 15:00 – 17:30	個人投資家様向け IR説明会 @広島
2026年	2月13日（金）	13:00開示	2025年12月期決算発表
	2月13日（金）	14:00 – 15:00	2025年12月期決算説明会（報道機関向け）
	2月16日（月）	14:00 – 15:00	2025年12月期決算説明会（機関投資家、アナリスト、報道機関向け）
	2月23日（月）	時間未定	個人投資家様向け IR説明会 @東京
	3月14日（土）	時間未定	個人投資家様向け IR説明会 @那覇
	3月25日（水）	10:00開始	2025年度定時株主総会 @神戸

# INDEX

1. 次期中計経営計画（2027年～2029年）に関して
2. 決算サマリー等
3. 連結業績の概要
4. カテゴリー別連結経営成績
5. 地域別連結経営成績
6. 連結財政状態
7. 連結業績予想
8. IRカレンダー

## Appendix

## 環境・社会に関する取組み

### 外部評価（環境）

- 国際NPO・CDP「サプライヤーエンゲージメント評価」において最高評価を獲得  
サプライチェーン全体で温室効果ガス排出量の削減に取り組んだことが評価され、CDPによる「サプライヤーエンゲージメント評価」でAリスト企業に選定。約22,700社の中で上位約6%に入り、サプライヤーエンゲージメントリーダーとして認定。



### 社会

- 東京2025デフリンピック日本選手団をオフィシャルパートナーとしてサポート  
2025年11月に東京で開催。日本選手団をオフィシャルパートナーとしてサポート。きこえない・きこえにくい人のスポーツの普及・振興に向けた取り組みや、国民の心身の健全な発展に寄与するという姿勢が、当社のめざすビジョンと一致していることからパートナーシップが実現。日本選手団およびスタッフなどに対し、シューズやアパレル等を提供予定。

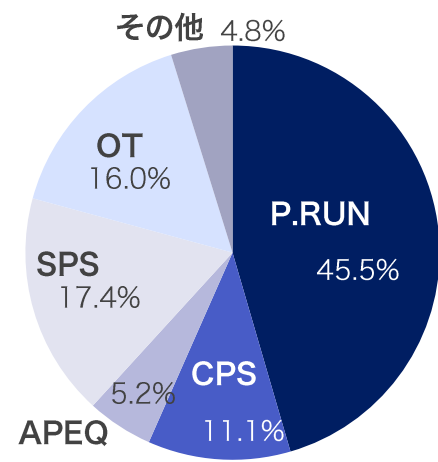


# ■ カテゴリー別地域別売上高構成（2025年12月期第3四半期）

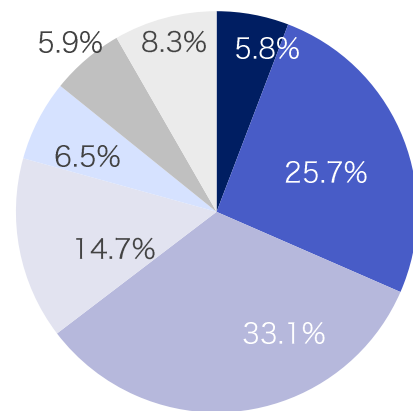
\*カテゴリー毎の地域別割合

■アシックスジャパン ■北米 ■欧州 ■中華圏 ■オセアニア ■東南・南アジア ■その他

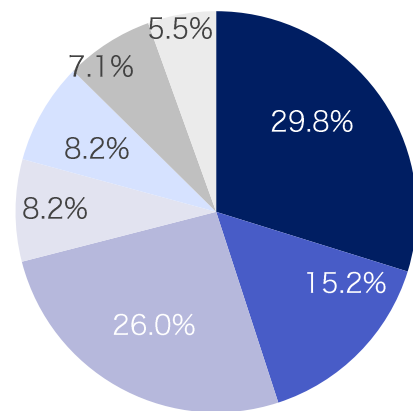
連結



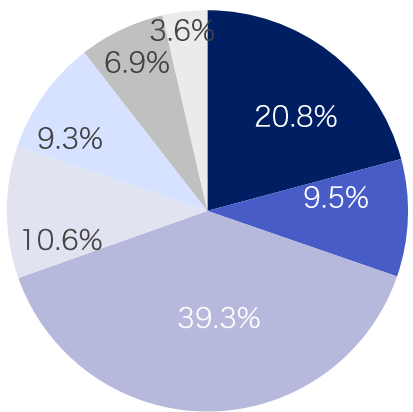
P.RUN



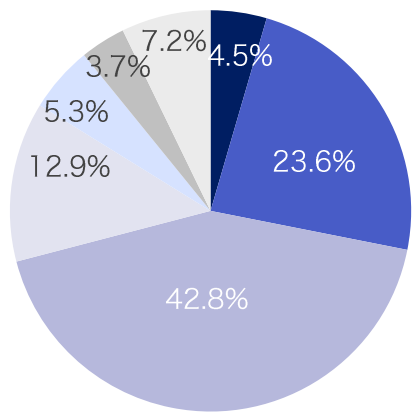
CPS



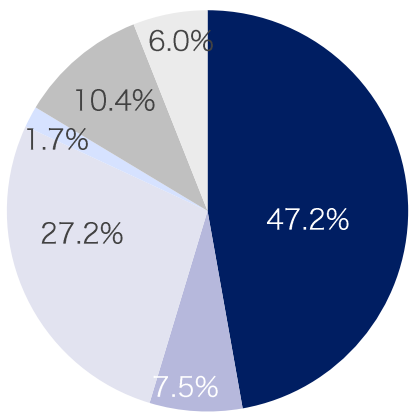
APEQ



SPS



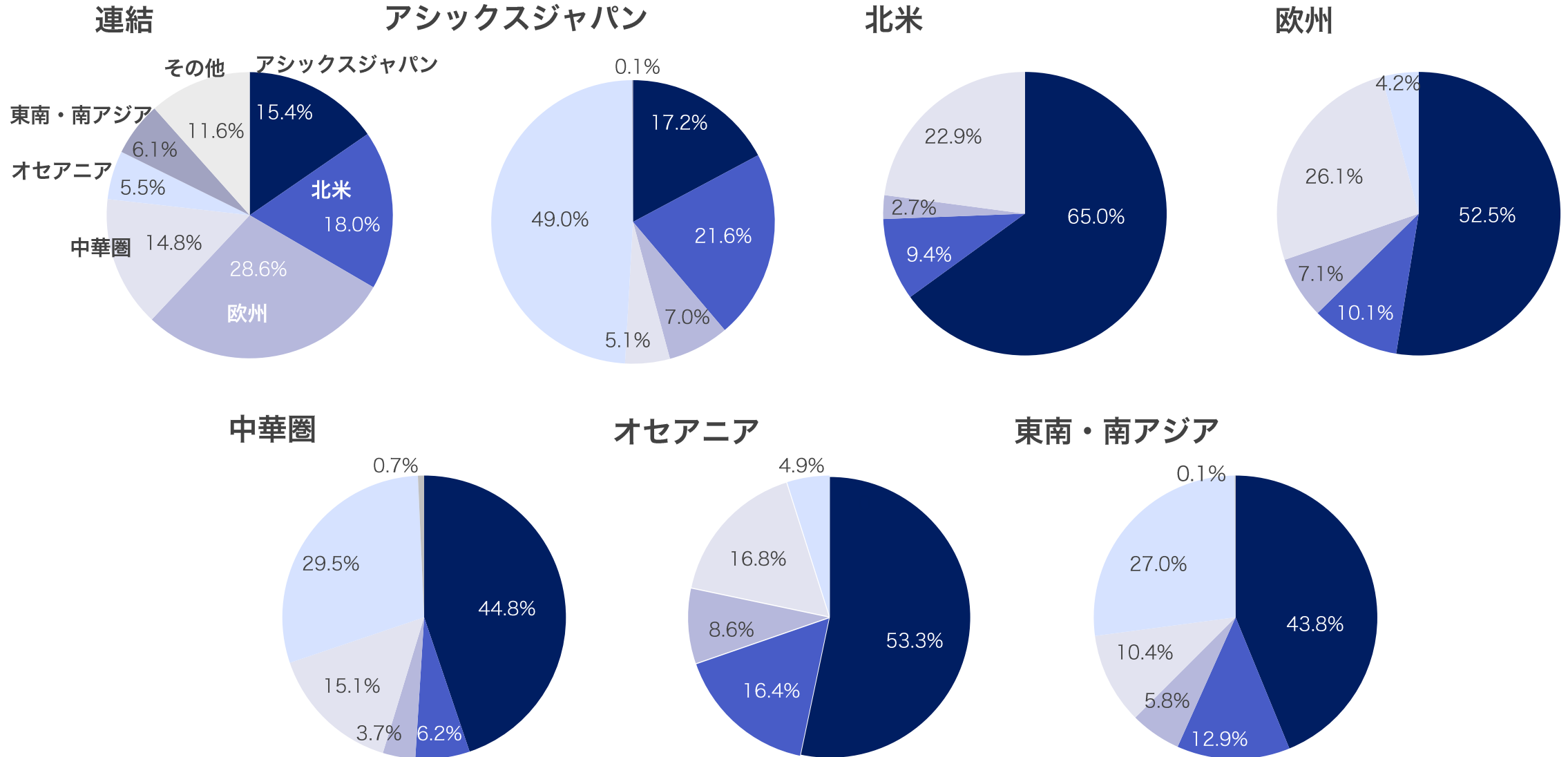
OT



# 主要地域別カテゴリー別売上高構成（2025年12月期第3四半期）

\*地域毎のカテゴリー別割合

■P.Run ■CPS ■APEQ ■SPS ■OT ■その他





# 2025年12月期 第3四半期 地域別実績

(単位：億円)

日本	FY24Q3 (1-9月)	FY25Q3 (1-9月)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	1,241	1,520	+279	+22.5%
為替影響除く		1,520	+279	+22.5%
営業利益	208	335	+127	+60.7%
営業利益率	16.8%	22.1%	-	+5.3ppt

アシックスジャパン (日本地域の内数)	FY24Q3 (1-9月)	FY25Q3 (1-9月)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	714	960	+246	+34.5%
為替影響除く		960	+246	+34.5%
営業利益	168	288	+120	+71.0%
営業利益率	23.6%	30.0%	-	+6.4ppt

北米	FY24Q3 (1-9月)	FY25Q3 (1-9月)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	1,042	1,124	+82	+7.9%
為替影響除く		1,147	+105	+10.2%
営業利益	111	159	+48	+43.0%
営業利益率	10.7%	14.2%	-	+3.5ppt

欧州	FY24Q3 (1-9月)	FY25Q3 (1-9月)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	1,431	1,789	+358	+25.0%
為替影響除く		1,774	+343	+24.0%
営業利益	238	336	+98	+40.9%
営業利益率	16.7%	18.8%	-	+2.1ppt

中華圏	FY24Q3 (1-9月)	FY25Q3 (1-9月)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	782	929	+147	+18.8%
為替影響除く		943	+161	+20.6%
営業利益	175	224	+49	+27.7%
営業利益率	22.5%	24.1%	-	+1.6ppt

オセアニア	FY24Q3 (1-9月)	FY25Q3 (1-9月)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	319	346	+27	+8.4%
為替影響除く		364	+45	+14.3%
営業利益	55	53	△2	△3.5%
営業利益率	17.4%	15.5%	-	△1.9ppt

東南・南アジア	FY24Q3 (1-9月)	FY25Q3 (1-9月)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	287	383	+96	+33.3%
為替影響除く		383	+96	+33.6%
営業利益	66	93	+27	+41.1%
営業利益率	23.1%	24.4%	-	+1.3ppt

その他地域	FY24Q3 (1-9月)	FY25Q3 (1-9月)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	362	392	+30	+8.3%
為替影響除く		424	+62	+17.1%
営業利益	61	69	+8	+12.6%
営業利益率	17.0%	17.7%	-	+0.7ppt

# 2025年12月期 第3四半期 地域別実績

(単位：億円)

日本	FY24Q3 (7-9月)	FY25Q3 (7-9月)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	443	528	+85	+19.2%
為替影響除く		528	+85	+19.2%
営業利益	78	119	+41	+51.4%
営業利益率	17.7%	22.5%	-	+4.8ppt

アシックスジャパン (日本地域の内数)	FY24Q3 (7-9月)	FY25Q3 (7-9月)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	263	349	+86	+33.1%
為替影響除く		349	+86	+33.1%
営業利益	64	105	+41	+62.5%
営業利益率	24.5%	29.9%	-	+5.4ppt

北米	FY24Q3 (7-9月)	FY25Q3 (7-9月)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	365	385	+20	+5.7%
為替影響除く		385	+20	+5.6%
営業利益	44	57	+13	+28.2%
営業利益率	12.1%	14.7%	-	+2.6ppt

欧州	FY24Q3 (7-9月)	FY25Q3 (7-9月)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	516	652	+136	+26.5%
為替影響除く		622	+106	+20.6%
営業利益	88	124	+36	+40.8%
営業利益率	17.1%	19.1%	-	+2.0ppt

中華圏	FY24Q3 (7-9月)	FY25Q3 (7-9月)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	252	309	+57	+22.7%
為替影響除く		307	+55	+21.9%
営業利益	56	75	+19	+32.4%
営業利益率	22.3%	24.1%	-	+1.8ppt

オセアニア	FY24Q3 (7-9月)	FY25Q3 (7-9月)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	113	132	+19	+16.9%
為替影響除く		136	+23	+20.8%
営業利益	18	20	+2	+9.3%
営業利益率	16.2%	15.2%	-	△1.0ppt

東南・南アジア	FY24Q3 (7-9月)	FY25Q3 (7-9月)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	111	148	+37	+33.1%
為替影響除く		148	+37	+33.3%
営業利益	27	39	+12	+46.7%
営業利益率	24.1%	26.5%	-	+2.4ppt

その他地域	FY24Q3 (7-9月)	FY25Q3 (7-9月)	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	119	146	+27	+22.8%
為替影響除く		149	+30	+25.1%
営業利益	18	26	+8	+44.3%
営業利益率	15.0%	17.7%	-	+2.7ppt

# 2025年12月期 連結業績予想：カテゴリー別

(単位：億円)		FY24 実績	FY25 予想	増減率	為替影響を除く 増減率
P.RUN	売上高	3,269	3,680	+12.6%	+14.6%
	カテゴリー利益	707	840	+18.8%	+20.9%
	カテゴリー利益率	21.6%	22.8%	+1.2ppt	-
CPS	売上高	786	850	+8.1%	+9.5%
	カテゴリー利益	141	160	+13.4%	+15.2%
	カテゴリー利益率	17.9%	18.8%	+0.9ppt	-
APEQ	売上高	380	420	+10.3%	+12.3%
	カテゴリー利益	43	60	+38.2%	+42.2%
	カテゴリー利益率	11.4%	14.3%	+2.9ppt	-
SPS	売上高	984	1,380	+40.2%	+43.0%
	カテゴリー利益	268	400	+48.8%	+51.6%
	カテゴリー利益率	27.3%	29.0%	+1.7ppt	-
OT	売上高	954	1,280	+34.1%	+36.5%
	カテゴリー利益	324	480	+48.0%	+49.8%
	カテゴリー利益率	34.0%	37.5%	+3.5ppt	-

# 2025年12月期 連結業績予想：地域別

(単位：億円)		FY24 実績	FY25 予想	増減率	為替影響を除く 増減率
日本 地域 ※1	売上高	1,664	1,900	+14.2%	+14.2%
	営業利益	276	435	+57.2%	+57.2%
	営業利益率	16.6%	22.9%	+6.3ppt	-
うち、アシックスジャパン	売上高	945	1,200	+26.9%	+26.9%
	営業利益	221	375	+68.9%	+68.9%
	営業利益率	23.5%	31.3%	+7.8ppt	-
北米 地域	売上高	1,350	1,450	+7.4%	+8.1%
	営業利益	112	160	+41.9%	+42.5%
	営業利益率	8.3%	11.0%	+2.7ppt	-
欧州 地域	売上高	1,793	2,180	+21.5%	+24.6%
	営業利益	252	370	+46.3%	+52.4%
	営業利益率	14.1%	17.0%	+2.9ppt	-
中華圏 地域	売上高	1,004	1,220	+21.4%	+27.4%
	営業利益	193	240	+24.1%	+30.2%
	営業利益率	19.3%	19.7%	+0.4ppt	-
オセアニア 地域	売上高	429	510	+18.6%	+18.5%
	営業利益	76	95	+24.4%	+24.3%
	営業利益率	17.8%	18.6%	+0.8ppt	-
東南・南アジア 地域	売上高	373	480	+28.6%	+31.9%
	営業利益	74	105	+41.6%	+45.8%
	営業利益率	20.0%	21.9%	+1.9ppt	-

※1 日本地域には、他の地域にはない主要5カテゴリー以外を販売する会社も含まれております。他の地域との比較可能性を考え、アシックスジャパンを日本地域の内訳として記載しております。  
 なお、日本地域には、アシックスジャパン、アシックス商事、ニシスポーツなどの会社を含みます。

# 2025年12月期 連結業績予想：カテゴリー別

(単位：億円)		FY25 前回予想	FY25 今回予想	増減率
P.RUN	売上高	3,680	3,680	-
	カテゴリー利益	830	840	+1.2%
	カテゴリー利益率	22.6%	22.8%	+0.2ppt
CPS	売上高	845	850	+0.6%
	カテゴリー利益	160	160	-
	カテゴリー利益率	18.9%	18.8%	△0.1ppt
APEQ	売上高	380	420	+10.5%
	カテゴリー利益	43	60	+39.5%
	カテゴリー利益率	11.4%	14.3%	+2.9ppt
SPS	売上高	1,370	1,380	+0.7%
	カテゴリー利益	400	400	-
	カテゴリー利益率	29.2%	29.0%	△0.2ppt
OT	売上高	1,270	1,280	+0.8%
	カテゴリー利益	475	480	+1.1%
	カテゴリー利益率	37.4%	37.5%	+0.1ppt

# 2025年12月期 連結業績予想：地域別

(単位：億円)

		FY25 前回予想	FY25 今回予想	増減率
日本 地域 ※1	売上高	1,880	1,900	+1.1%
	営業利益	435	435	-
	営業利益率	23.1%	22.9%	△0.2ppt
うち、アシックスジャパン	売上高	1,180	1,200	+1.7%
	営業利益	375	375	-
	営業利益率	31.8%	31.3%	△0.5ppt
北米 地域	売上高	1,450	1,450	-
	営業利益	150	160	+6.7%
	営業利益率	10.3%	11.0%	+0.7ppt
欧州 地域	売上高	2,150	2,180	+1.4%
	営業利益	360	370	+2.8%
	営業利益率	16.7%	17.0%	+0.3ppt
中華圏 地域	売上高	1,220	1,220	-
	営業利益	240	240	-
	営業利益率	19.7%	19.7%	-
オセアニア 地域	売上高	500	510	+2.0%
	営業利益	95	95	-
	営業利益率	19.0%	18.6%	△0.4ppt
東南・南アジア 地域	売上高	470	480	+2.1%
	営業利益	105	105	-
	営業利益率	22.3%	21.9%	△0.4ppt

※1 日本地域には、他の地域にはない主要5カテゴリー以外を販売する会社も含まれております。他の地域との比較可能性を考え、アシックスジャパンを日本地域の内訳として記載しております。  
 なお、日本地域には、アシックスジャパン、アシックス商事、ニシスポーツなどの会社を含みます。

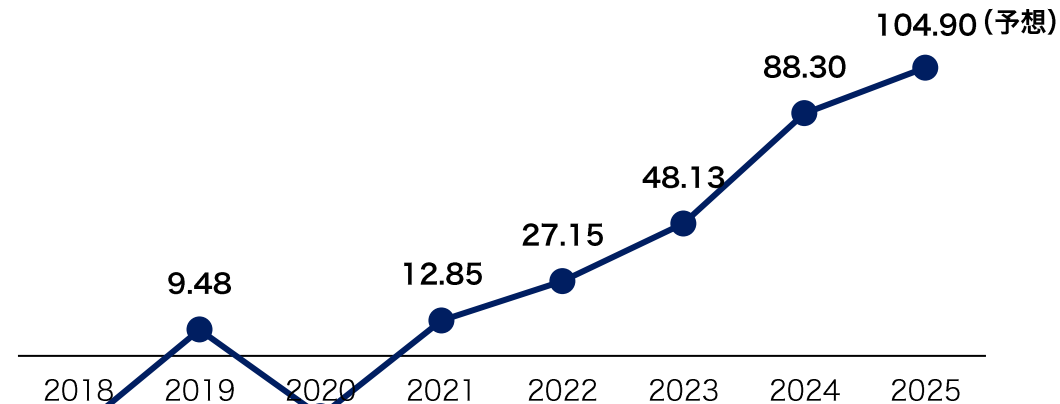
# 株価及び指標の推移

■ 株価推移 2017年末 – 2025年11月11日



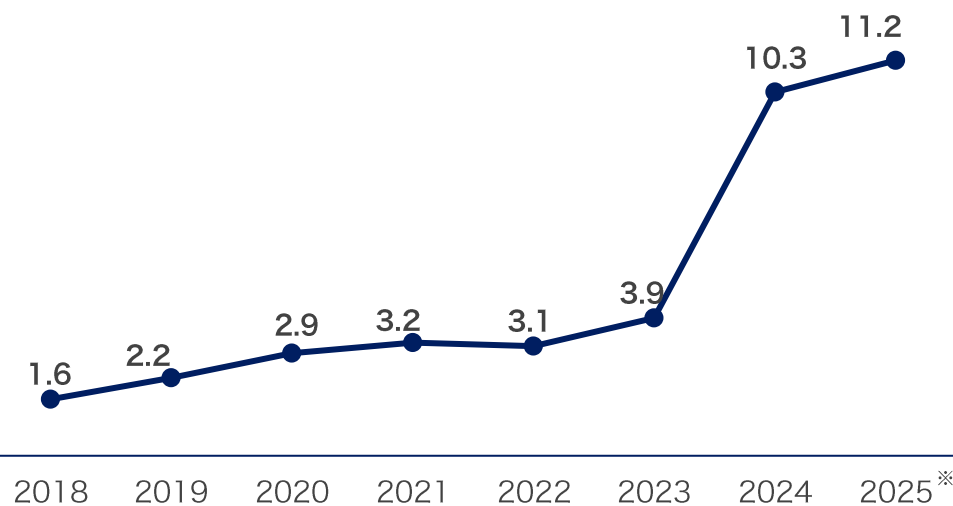
出所：ブルームバーグ

■ EPS推移



出所：ブルームバーグ

■ PBR推移



※ 11月11日時点

出所：ブルームバーグ

# パフォーマンスランニング (P.RUN) ラインナップ

- ビギナーランナーからシリアスランナーまでフルラインナップで商品を展開。

## STABILITY



GEL-KAYANO 32

¥22,000 / \$165 / €200



GT-2000 14

¥16,500 / \$140 / €160



GT-1000 14

¥13,200 / \$110 / €130

## CUSHION



GEL-NIMBUS 27

¥20,900 / \$165 / €200



GEL-CUMULUS 27

¥15,950 / \$140 / €160



GEL-PULSE 16

¥13,200 / \$100 / €110

## BOUNCE



MEGABLAST

¥27,500 / \$225 / €240



SUPERBLAST 2

¥24,200 / \$200 / €220



SONICBLAST

¥22,000 / \$180 / €190



NOVABLAST 5

¥16,500 / \$150 / €150

## SPEED



METASPEED RAY

¥33,000 / \$300 / €300



METASPEED SKY TOKYO  
METASPEED EDGE TOKYO

¥29,700 / \$270 / €270



S4+ YOGIRI

¥22,000 / \$200 / €210



MAGIC SPEED 5

¥18,700 / \$170 / €180

## TRAIL



METAFUJI TRAIL

¥29,700 / \$250 / €250



Trabuco Max 4

¥19,800 / \$160 / €180



GEL-Trabuco 13

¥17,600 / \$140 / €160



# スポーツスタイル (SPS) プロダクトポートフォリオ

- 複数の商品群を持つことで、トレンドサイクルの早いスニーカー市場における柔軟な機会創出とリスクに対応
- プレミアムな方向にシフトし、コラボレーションなどによる差別化やアパレルコレクションを活用したスタイリング提案を実施
- 在庫コントロールにも注力し、高い利益率を実現

## VISIBLE TECH

テクノロジーとスタイルの融合

発売時期：7月～



**GEL-QUANTUM 360 I AMP**  
¥22,000 / \$190 / €195

発売時期：10月～



**GEL-KINETIC FLUENT**  
¥20,000 / \$180 / €190

## MODERN

アーカイブの再構築

発売時期：6月～



**GEL-NYC**  
¥16,000 / \$130 / €150

発売時期：9月～



**GEL-NUNOBIKI RGD**  
¥14,000 / \$110 / €110

## VINTAGE TECH

2000年代アーカイブ

発売時期：6月～



**GEL-KAYANO 14**  
¥18,000 / \$150 / €160

発売時期：8月～



**GEL-CUMULUS 16**  
¥18,000 / \$140 / €150

## CLASSICS

90年代アーカイブ

発売時期：2024年6月～



**GEL-LYTE III**  
¥15,000 / \$120 / €-

発売時期：8月～



**SKYHAND OG**  
¥13,000 / \$100 / €110

## SKATEBOARDING

スケートボードに合わせたテクノロジーとスタイル

発売時期：6月～



**GEL-FLEXKEE PRO 2.0**  
¥18,000 / \$135 / €160

発売時期：6月～



**JAPAN PRO**  
¥13,000 / \$105 / €110

## コラボレーション製品

発売時期：7月～



**ASICS x ABOVE THE CLOUDS**  
**GEL-QUANTUM 360 1**  
¥27,000 / \$210 / €-

発売時期：4月～



**ASICS x Story mfg.**  
**GEL-VENTURE 6**  
¥17,000 / \$133 / €140

発売時期：10月～



**ASICS x TOGA ARCHIVES**  
**GEL-CUMULUS 16**  
¥34,000 / \$270 / €280

発売時期：9月～



**ASICS x mita sneakers**  
**GEL-LYTE ∞**  
¥23,000 / \$175 / €-

発売時期：8月～



**ASICS x Gino Iannucci**  
**LEGGEREZZA FB**  
¥12,000 / \$120 / €110

※地域により発売時期は異なる可能性があります

Price ¥:tax excluded / \$:tax excluded / €:tax excluded 11月12日時点



## DISCLAIMER 将来見通しに関する記述についての注意

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。したがって、これらの業績見通しのみに全面的に依拠することは控えてくださいますよう、お願いいたします。実際の業績は、さまざまなリスクや不確実性により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実性には、当社の事業を取り巻く経済情勢、さまざまな競争圧力、関連法律・法規、為替レートの変動などを含みます。ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。